令和2年第3回美里町議会定例会会期日程表

日次	月	日	曜	開議時刻	摘 要
第1日	9	8	火	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・会議録署名議員指名 ・会期の決定 ・諸般の報告 ・町長提出議案の一括上程 ・町長提出議案の提案理由説明 ・議案審議（内容説明・質疑・討論・採決）
第2日		9	水	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問
第3日		10	木	休 会	<ul style="list-style-type: none"> ・各常任委員会
第4日		11	金	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・各常任委員会報告及び質疑 ・議案審議（内容説明・質疑・討論・採決） ・閉会

第 1 号

9 月 8 日 (火)

令和2年第3回美里町議会定例会会議録（第1号）

令和2年9月8日（火）

午前10時00分開会

1. 議事日程

日程第1 会議録署名議員指名 2番 光井 博幸 議員 3番 今田 政行 議員

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告 (1)議長
(2)町長
(3)監査委員
(4)美里町議会改革調査特別委員会委員長
(5)宇城広域連合議会議員

日程第4 町長提出議案の一括上程（議案第62号から議案第79号及び報告第4号）

日程第5 町長提出議案の提案理由説明

日程第6 議案第62号 専決処分事項（令和2年度美里町一般会計補正予算〔第9号〕）
の報告及び承認を求めることについて

日程第7 議案第63号 美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定につ
いて

日程第8 議案第64号 美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関す
る基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

日程第9 議案第65号 美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて

日程第10 議案第66号 令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第11 議案第67号 令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定につ
いて

日程第12 議案第68号 令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第13 議案第69号 令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第14 議案第70号 令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第15 議案第71号 令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて

日程第16 議案第72号 令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定につ
いて

日程第17 報告第4号 令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告に
ついて

- 日程第18 監査委員意見書説明
- 日程第19 議案第73号 令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）
- 日程第20 議案第74号 令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第21 議案第75号 令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）
- 日程第22 議案第76号 令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 日程第23 議案第77号 令和2年度美里町生活排水特別会計補正予算（第1号）
- 日程第24 議案第78号 令和2年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 日程第25 議案第79号 令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

2. 出席議員（12名）

1番	高田美千子君	2番	光井博幸君
3番	今田政行君	4番	坂田竜義君
5番	上田孝君	6番	松永正憲君
7番	中川政司君	8番	吉田起登君
9番	上村則幸君	10番	福田秀憲君
11番	濱田憲治君	12番	吉田美好君

3. 欠席議員（なし）

4. 説明のため出席した者

町長	上田泰弘君	副町長	吉住慎二君
教育長	吉永公力君	総務課長	宮寄幸仁君
企画情報課長	渡邊徳晶君	税務課長	田上和則君
住民課長	山田輝臣君	福祉課長	中村武志君
健康保険課長	松永栄作君	経済課長	富永英司君
林務観光課長	高田浩幸君	建設課長	長井寿浩君
水道衛生課長	北島浩徳君	会計課長	池永英治君
学校教育課長	坂村浩君	社会教育課長	中川幸生君

5. 事務局職員出席者

事務局長	倉田辰実君	書記	津田里美子君
------	-------	----	--------

開会 午前10時00分

-----○-----

○議長（吉田美好君） ただいまから、令和2年第3回美里町議会定例会を開会します。
本日の会議を開きます。

-----○-----

日程第1 会議録署名議員指名

○議長（吉田美好君） 日程第1、会議録署名議員指名を行います。会議録署名議員は、
会議規則第120条の規定により、2番、光井博幸君、3番、今田政行君を指名し
ます。

-----○-----

日程第2 会期の決定

○議長（吉田美好君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

8月27日に議会運営委員会が開催されていますので、議会運営委員長の報告を
求めます。議会運営委員長、濱田憲治君。

○議会運営委員長（濱田憲治君） 改めまして、おはようございます。

令和2年第3回議会運営委員会委員長の報告をいたします。

去る8月27日午前10時より、中央庁舎議会委員会室において、令和2年第3
回議会運営委員会を開催しました。

出席者は、議会より吉田美好議長、上田総務常任委員長、中川経済建設常任委員
長、福田社会文教常任委員長と私、濱田、執行部より、上田町長、吉住副町長、宮
寄総務課長、事務局より倉田事務局長と津田参事出席のもと開会をいたしました。

議題としまして、（1）執行部提出議案について、（2）一般質問について、
（3）日程・会期等について、（4）その他を議案としました。

まず、（1）執行部提出議案について。専決処分・補正予算1件、条例関係3件、
決算認定7件、令和2年度補正予算7件、その他1件、合計10議案の説明を受け
ております。

次に、（2）一般質問について。受付順で福田秀憲議員、坂田竜義議員から通告
があっており、質問順については抽選の結果、最初に福田秀憲議員、次に坂田竜義
議員の順番に決定しております。

次に、（3）日程・会期等について。会期予定表（案）のとおり、9月8日より
9月11日までの4日間と予定をしております。日程の内容につきましては、議案
集の令和2年第3回美里町議会定例会会期予定表（案）のとおりでございます。

議会初日、本日は、令和2年第3回美里町議会定例会議事予定表（案）より、日
程第3、諸般の報告、日程第4、町長提出議案一括上程（議案第62号から議案第

79号及び報告第4号)をし、日程第5、町長提出議案の提案理由の説明を受けます。日程第6、議案第62号、専決処分事項「令和2年度美里町一般会計補正予算(第9号)の報告及び承認を求めることについて」内容説明のあと、質疑・討論・採決を行います。

日程第7、議案第63号「美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について」から、日程第9、議案第65号「美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定について」、それぞれの内容説明のあと、質疑・討論・採決を行います。

次に、日程第10、議案第66号「令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、日程第16、議案第72号「令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」までの内容説明を受けます。質疑・討論・採決は、議会最終日11日に行います。

次に、日程第17、報告第4号「令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について」内容説明を受けます。

次に、日程第18「監査委員意見書説明」を受けます。次に、日程第19、議案第73号「令和2年度美里町一般会計補正予算(第10号)」から、日程第25、議案第79号「令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)」までの内容説明を受けます。質疑・討論・採決は、議会最終日11日に行います。

9月9日、議会2日目は、一般質問を行います。質問順につきましては、1番に福田秀憲議員、2番に坂田竜義議員の順番で実施をします。

9月10日は休会とし、各常任委員会を開催していただきます。

9月11日、議会最終日は、各常任委員会の委員長の報告及び質疑を行います。その後、議案第66号「令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、議案第72号「令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」再度上程し、内容説明は既に終わっておりますので、質疑・討論・採決を行います。次に、議案第73号「令和2年度美里町一般会計補正予算(第10号)」から、議案第79号「令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)」を再度上程し、内容説明は既に終わっておりますので、質疑・討論・採決を行います。次に、発議第1号「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書の提出について」内容説明のあと、質疑・討論・採決を行います。

以上が、8月27日に行われました議会運営委員会の報告といたします。

以上です。

○議長(吉田美好君) 以上で、議会運営委員長の報告を終わります。

お諮りします。ただいま議会運営委員長の報告のとおり、会期は、本日9月8日から9月11日までの4日間としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日9月8日から9月11日までの4日間に決定をいたしました。

-----○-----

日程第3 諸般の報告

○議長（吉田美好君） 日程第3、諸般の報告を行います。

まず、議長から6月定例会以降の報告を行います。

6月18日木曜日、第1回指定管理者選定審議会が中央公民館で行われまして、出席をいたしております。

同じく22日月曜日、令和2年第8回議会広報委員会。これが委員会室で行われまして、正副議長並びに正副広報委員長、常任委員長さんも出席でございます。

30日火曜日、令和2年第3回美里町議会臨時会、議会議場で行われまして、全議員出席でございます。

同じく30日、県道小川・嘉島線整備促進期成会監査を議長室で行っております。

7月に入りまして、2日木曜日、第2回指定管理者選定審議会、社会体育施設の中のやつであります。中央公民館で行われておりまして出席をしております。なお、このときの内容につきましては、B&Gほかの施設でございます。

同じく6日月曜日、第2回指定管理者選定審議会（社会体育施設）、これも中央公民館で行われまして、出席をしておりますが、このときには総合体育館の分のやつでございます。

8日水曜日、令和元年度かぼちゃ研究会通常総会が中央庁舎で行われまして、出席をいたしております。

10日金曜日、令和2年第2回宇城広域連合議会臨時会の事前説明会が宇城広域連合本所において行われまして、私と光井議員が出席をいたしております。

14日火曜日、嘱託会との意見交換会打ち合わせということで、議長室におきまして、私、濱田委員長、今田副委員長それに嘱託会の正副会長さん3名に出席をいただいております。

14日火曜日、第3回指定管理者選定審議会、これ社会体育施設のやつですが、中央公民館で行われまして、これは先ほど言いましたB&Gほかと総合体育館、まとめてですね、審議会が行われております。

同じく14日ではありますが、金子代議員が来町されまして、これはもう全議員さ

ん出席いただいて、議員控室で応対をしております。

21日火曜日、令和2年第2回宇城広域連合議会臨時会、広域連合の本所で行われまして、私と光井議員、出席をしております。

26日日曜日、美里町土地改良区東部事業部の水天宮祭が山都町の取り入れ口で行われまして、私と高田議員、出席をいたしております。

同じく29日水曜日、嘱託会との意見交換会について、打ち合わせを行っております。これは議長室で、私と濱田委員長と打ち合わせを行っております。

8月の6日木曜日、熊本県町村議会議長会第2回理事会が自治会館で行われまして、出席をいたしております。

18日火曜日、令和2年第4回美里町議会臨時会、これ議会議場で行われまして、全議員出席であります。松永議員から欠席届が出ております。

同じく18日、令和2年第6回美里町議会改革調査特別委員会、大会議室で行われまして、全議員出席であります。私はオブザーバーとして出席をいたしております。なお、これにつきましても、松永議員から欠席届が出ておりました。

8月24日月曜日、熊本県町村議会議長会議長・副議長研修会が自治会館で行われまして、私と濱田副議長が出席をいたしております。

27日木曜日、令和2年第3回議会運営委員会、これ委員会室で行われまして、私と議会運営委員さん、出席でございます。

それからもう本日でございます。令和2年第3回美里町議会定例会の開会ということでございます。

以上で、議長の報告を終わります。

次に、町長に行政報告を求めます。上田町長。

○町長（上田泰弘君） それでは、私のほうから報告をさせていただきます。6月議会後の報告となります。

令和2年6月18日木曜日、社会体育施設等指定管理者選定審議会の委員の委嘱状交付を行っております。

同じく20日土曜日、令和2年度2次補正予算の意見交換会が小川町のラポートで行われております。出席をしております。

同じく22日月曜日、熊本県農業委員会議通常総会が熊本テルサで行われましたので、出席をいたしております。

同じく6月24日、社会福祉協議会評議員会。

次の日、25日、健康づくり推進委員委嘱状の交付式を行っております。

そして、29日、九州ハイランド活性化協議会の総会、五ヶ瀬町のきじやで行われましたので出席をいたしております。

6月30日、令和2年第3回的美里町議会の臨時会、その後、11時から新型コロナ対策本部会議、そしてそのあと1時半から、佐俣の湯指定管理者選定審議会委員の委嘱状交付を行っております。

7月に入りまして、7月1日、課長会議、それから熊本地震復旧復興会議を行っております。また、そのあと10時から、社会を明るくする運動趣意書の伝達式に出席をいたしております。

同じく3日、住宅等貸付審査委員会、その後、総合戦略審議会、そのあと産業連携の組織検討会に出席をいたしております。

そして6日、福祉施設等の指定管理者選定審議会の委員の委嘱状交付を行っております。

次に8日、令和元年度美里かぼちゃ研究会の総会に出席をいたしております。

飛びまして14日、JA下東花鉢物プロジェクトの花鉢物部会の総会に出席をいたしております。

7月16日、上京をいたしまして、緑川改修期成会の要望活動、国交省並びに財務省を訪問をいたしております。

7月の20日、防犯協会功労者の表彰、そのあと農業委員会の会議におきまして、辞令交付を行っております。

21日、宇城広域連合議会の第2回の臨時会に出席をし、その終了後、正副連合長会議に臨んでおります。

7月22日、西台地の土地改良区の井手祭りに出席をし、その後、熊本県の治山林道協会の治山林道工事等コンクールに出席をいたしております。

7月26日、東部土地改良区の水天宮祭に出席をしております。

29日、佐俣の湯温泉まつり実行委員会。

そして31日、新型コロナウイルス対策本部会議に出席をし、午後から宇城上益城統一畜産共進会の実行委員会の総会に出席をしております。

8月になります。8月3日、地域おこし協力隊委嘱状の交付を行っております。

5日、過疎連盟の優良事例の表彰がありまして、これは町長室で行われましたが、その式典に参加をしております。

7日、美里町の土地改良区の理事会。

8月13日、新型コロナウイルス感染症の対策本部会議を行っております。

8月18日、令和2年の第4回議会臨時会に出席をしております。

そして、20日、お二人の監査委員さんから決算審査の結果報告を受けております。そして、そのあと総合教育会議が開催されましたので、出席をしております。

8月27日、第3回の議会運営委員会。

8月31日、美里町の畜産育成管理品評会に出席をしております。

9月になります。9月の1日、アタック・ザ・日本一実行委員会の会議。

そして9月の4日、朝から第1回の災害対策本部会議、これは台風10号に対する会議です。朝の9時から開きまして、そしてその日の午後、また4時から第2回の災害対策本部会議を行っております。

そして9月の5日、朝9時から第3回災害対策本部会議。

9月の6日日曜日、これは朝9時から第4回の災害対策本部会議。

9月7日、8時半から第5回の災害対策本部会議を行っているところでございます。

以上で、私からの報告を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、町長の行政報告を終わります。

次に、監査委員の例月現金出納検査報告を求めます。4番、坂田竜義君。

○監査委員（坂田竜義君） 例月現金出納検査の結果について報告をいたします。

美里町議会議長、吉田美好様。美里町監査委員、遠山史朗。同じく、坂田竜義。

例月現金出納検査の結果に関する報告書の提出について。

地方自治法第235条の2第1項により、令和2年5月、6月、7月分の出納検査を行ったので、同条第3項の規定により、その結果に関する報告をします。

記

1、検査対象、会計管理者所管の一般会計、特別会計、歳入歳出外現金に関する現金、一時借入金（計算表は別紙のとおりであります）。

2、検査の時期、5月分については令和2年6月24日、6月分については7月の22日、7月分については8月25日にそれぞれ行っております。

検査の結果、諸帳簿及び提出された諸表の計算は正確であり、不正、不当な出納はなく確実なものと認める。

以上であります。

○議長（吉田美好君） 以上で、監査委員の例月現金出納検査報告を終わります。

次に、美里町議会改革調査特別委員会委員長の報告を求めます。11番、濱田憲治君。

○11番（濱田憲治君） 令和2年第5回美里町議会改革調査特別委員会の報告をいたします。

期日、令和2年7月14日火曜日、午後2時30分より。場所、美里町役場中央庁舎議会委員会室において。出席者、今田副委員長、福田委員、上村委員、吉田起登委員、中川委員、坂田委員、光井委員、高田委員及び私、濱田でございます。事務局から倉田局長、津田参事、出席をいたしております。欠席の方が、松永委員と上田委員でございました。

議題としまして、1、行政体制の在り方等に関する地方制度調査会の答申案について。2、嘱託会三役との打ち合わせ会の報告について。3、その他。としました。議事としまして、

1、地方行政体制の在り方等に関する地方制度調査会の答申案について

添付資料の「2040から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（案）「第5回地方議会」について」、局長より説明を受けております。今後、国の動向を注視し、議員のなり手不足に対応するように準備を進めることといたしております。

2、嘱託会三役との打ち合わせ会の報告について

当日、嘱託会から、堀川会長、池田副会長、丸山副会長を議長室に招き、議長と今田副委員長と私、濱田、それと倉田局長出席のもと、打ち合わせ会議を開催しております。

はじめに、嘱託会との意見交換会を実施する経過及び目的について、私より説明を行っております。打ち合わせ事項として、①開催規模の提案、②期日及び場所について、③テーマについて協議をしております。

開催規模について、コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、特別委員会での案、20名程度で実施したいと提案をしましたが、20名をどのような形で人選するのか難しい判断になることと、嘱託員全員の意識の共有が望ましいと嘱託会より意見があり、協議した結果、事前に参加者の把握及び関係資料を配布し、欠席の方からの意見も取り入れる形で進めることとしました。

期日及び場所については、密を避けるため、文化交流センターひびきで開催する方向性と、参加者が少ない場合は会場の見直しをすることとしました。期日は、9月の定例会が終わってからの9月26日土曜日、午後7時からといたしております。

テーマについて、議員定数と嘱託員からの意見・要望についてとしました。行政への要望や、議員個人に対する個人的な意見等は控えることとしております。

以上の結果報告をし、委員から参加者は20名程度ではなかったのか、議員個人に対する攻撃的な意見等が出たときは、進行係が即座に対応する必要があるのではという意見もございました。いろいろ意見が出ましたが、報告のとおり、意見交換会を実施することにいたしております。

3、その他について

町村議会選挙公営に関わる改正公職選挙法の公布・施行について、倉田局長から説明を受けております。議会ICTの推進について、今回タブレット体験があると思っていたという委員から指摘を受け、次回体験できるように計画を進めることとしております。

以上が、令和2年第5回議会改革調査特別委員会の報告であります。

引き続き、令和2年第6回美里町議会改革調査特別委員会の報告をいたします。

令和2年8月18日午前10時35分より、美里町役場中央庁舎大会議室において、出席者が、今田副委員長、福田委員、上村委員、吉田起登委員、中川委員、上田委員、坂田委員、光井委員、高田委員、及び私濱田、オブザーバーで吉田議長にも参加をいただいております。事務局から倉田局長、津田参事出席であります。欠席者として松永委員でございました。

議題としまして、1、嘱託会との意見交換について2、その他としました。

議事として、

1、嘱託会との意見交換について

8月に入り、県内でもコロナウイルス感染症の拡大を受け、計画予定の嘱託会との意見交換会を対面式から書面による意見聴取に変更し、嘱託会長も同意されていることを報告しております。委員より、感染予防対策を万全にし実施したほうがよいのでは。書面の場合、一方的な意見になり、議会側の説明・意見を発する機会がなくなるのではないかと。意見交換になると、発言できる人・できない人がおられるが、書面になれば個人の意見も書きやすくなり、多くの意見が出てくるのではないかと。などの意見が出ております。委員長・副委員長と事務局で作成した「依頼文・回答書・添付資料」（案）の説明をし、委員より意見を聴取しております。

意見として、議員の活動等に要する経費（資料）について、表記方法を検討すること。嘱託会に意見交換回答書を依頼する場合、事前に委員長から嘱託会長への十分な内容説明が必要であること。書面による「意見交換回答書」の配布について、10月中旬に開催予定の嘱託員会議時に配布し、11月中旬に回収するスケジュールでよいのでは。などの意見をもらい、第7回（9月開催予定）の特別委員会において案を提案し、「意見交換回答書」等の資料を最終的に確定することとしております。回答書の回収方法については、嘱託会長と協議することとしております。

2、その他について

議会だよりを利用して、美里町議会改革調査特別委員会の取り組み状況を町民への周知を進めることと、議員定数の審議と併せて議員報酬についての調査研究も必要ではないかという意見もあり、特別委員会の活発な活動を進めることとしております。

以上が、令和2年第6回議会改革調査特別委員会の報告であります。

以上、第5回、第6回の報告をいたしました。報告漏れがございましたらば、ほかの委員さんから補足をお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（吉田美好君） 他の委員さんから補足はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 以上で、美里町議会改革調査特別委員会委員長の報告を終わります。

次に、宇城広域連合議会議員の報告を求めます。2番、光井博幸君。

○2番（光井博幸君） それでは、令和2年第2回宇城広域連合議会臨時会の報告をいたします。

宇城広域連合議員、光井博幸

日時、令和2年7月21日火曜、午後2時から。

場所、宇城広域連合2階交流プラザ

出席者、宇城広域連合議員10名、正副連合長3名、執行部から11名

日程第1、議席の指定

日程第2、会議録署名議員の指名

日程第3、会期の決定 当日1日間に決定しております。

日程第4、専第1号、宇城広域連合議会副議長の選挙について。指名推選により、当選人決定しております。

日程第5、議案第10号、宇城広域連合財産の取得について。小川分署の消防ポンプ車の購入。

日程第6、議案第11号、工事請負契約の締結について。宇城広域連合エネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事の建設について。一般競争入札（総合評価落札方式）で決定した業者と契約を締結するもの。

日程第7、議案第12号、工事請負契約の締結について。宇城広域連合消防本部北消防署新庁舎建設造成工事について。条件付き一般競争入札で、決定した業者と契約を締結するもの。

議案については、全て原案どおり可決。

日程第8、報告第5号、専決処分の報告について。令和2年専決第2号、損害賠償の決定について。

日程第9、報告第6号、令和元年度宇城広域連合一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について。衛生費は、エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業及び汚泥再生処理センター更新事業について繰越し。消防費は、非常用電源設備整備事業及び消防本部北消防署耐震改築整備事業について繰越し。

以上で、報告を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、宇城広域連合議会議員の報告を終わります。

これで、諸般の報告を終わります。

日程第4 町長提出議案の一括上程

○議長（吉田美好君） 日程第4、町長提出議案の一括上程を行います。

議案第62号から議案第79号及び報告第4号までの案件を一括して上程し、案件のみ議会事務局長に朗読をさせます。倉田議会事務局長。

○事務局長（倉田辰実君） それでは、議案書の2枚目をお開きください。読み上げます。

議案第62号 専決処分事項（令和2年度美里町一般会計補正予算〔第9号〕）の報告及び承認を求めることについて

議案第63号 美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について

議案第64号 美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第65号 美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第66号 令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第67号 令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

次のページをお開きください。

議案第68号 令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第69号 令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第70号 令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第71号 令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第72号 令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

報告第4号 令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

議案第73号 令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）

議案第74号 令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第75号 令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）

議案第76号 令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第77号 令和2年度美里町生活排水特別会計補正予算（第1号）

議案第78号 令和2年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第79号 令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
以上でございます。

○議長（吉田美好君） 以上で、議会事務局長の朗読を終わります。

-----○-----

日程第5 町長提出議案の提案理由説明

○議長（吉田美好君） 日程第5、町長提出議案の提案理由説明を行います。

町長に、町長提出議案の提案理由の説明を求めます。上田町長。

○町長（上田泰弘君） 提案理由をご説明申し上げます。

今定例会に提案しております議案は、専決処分事項1件、条例3件、決算認定7件、報告1件、補正予算7件の計19件でございます。

はじめに、議案第62号、専決処分事項。令和2年度美里町一般会計補正予算（第9号）でございますが、干害応急給水対策に係る経費としまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ100万円を追加し、歳入歳出予算の総額を82億9,388万3,000円とすることにつきまして、専決処分をいたしましたので、議会に報告し、承認を求めるものでございます。

次に、議案第63号、美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定につきましては、法令の施行に伴い、地方公共団体の長等の損害賠償責任の見直しが可能となり、適正な職務執行を図るため、条例の制定を行うものでございます。

次に、議案第64号、美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、法令の施行に伴い、関係条例につきまして、所要の改正を行うものでございます。

続きまして、議案第65号、美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、部落差別の解消の推進に関する法律をはじめ、差別の解消を目的とした諸法令の趣旨にのっとり、関係条例につきまして、所要の改正を行うものでございます。

次に、議案第66号、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定から、議案第72号、令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定までにつきましては、地方自治法の規定により、監査委員の意見をつけて、議会の認定に付すものでございます。

次に、報告第4号、令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告につきましては、地方公共団体の財政健全化に関する法律の規定により、監査委員の意見をつけて、議会に報告するものでございます。

次に、議案第73号、令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）につきましては、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5億322万円を追加し、歳入

歳出予算の総額を87億9,710万3,000円とするものでございます。

主な内容でございますが、歳入におきましては国庫支出金において、公共土木施設災害復旧費負担金6,162万2,000円、地方創生臨時交付金8,799万5,000円、道路メンテナンス事業費補助金8,583万7,000円を計上し、社会資本整備総合交付金6,364万5,000円を減額いたしております。県支出金におきましては、林道災害復旧事業補助金3,000万円を計上、繰入金におきましては、財政調整基金繰入金7,008万9,000円、平成28年熊本地震復興基金繰入金2,392万7,000円を計上し、水道事業基金繰入金1,281万5,000円を減額いたしております。繰越金におきましては、前年度繰越金1億7,022万3,000円、雑入におきましては、宇城広域連合負担金前年度決算剰余金返還金2,471万円、町債におきましては、総額1億8万9,000円を計上いたしております。

次に、歳出でございますが、総務費におきましては、オンライン対応契約管理システム整備委託料640万円、eスポーツでいい里づくり事業委託料150万円、財政調整基金積立金1億円、社会保障・税番号制度システム整備委託料929万5,000円を計上いたしております。

なお、今回eスポーツでいい里づくり事業委託料といたしまして150万円計上いたしておりますが、これは地域のICT化を進めるために取り組む事業でありまして、当事業の具体的な目的は三つあります。eスポーツ、これはゲームです。それを高齢者にやってもらい、頭と指先を使うことで認知症予防につなげる。それから二つ目です。eスポーツを活用し、小学生へのプログラミング教育を実施することでこれからの時代に活躍できる人材を育成する。そして三つ目、eスポーツを通じて、高齢者と子どもとの世代間交流や地域内交流を促進し、地域で支え合う体制の強化につなげる。以上の三つを目的として、今後、この事業は、以上三つの目的をもってですね、eスポーツでいい里づくり事業を提案させていただいております。今後、このeスポーツ協会ともですね、緊密に連携していきたいと考えているところでございます。

次に、民生費でございます。民生費におきましては、美里町介護基盤緊急整備特別対策事業補助金728万6,000円、砥用庁舎仮設住宅跡地舗装工事費1,000万円を。そして衛生費におきましては、水道事業基金積立金4,000万円をそれぞれ計上いたしております。

農林水産業費におきましては、向江橋取り付けに係る農道等整備工事費400万円を計上し、商工費におきましては、中止となったふるさと祭り及びやまびこ祭りの補助金500万円を減額いたしております。

土木費におきましては、道路維持費において、測量設計等委託料3,550万円、工事費5,500万円、道路新設改良費において、工事費850万円、立木等補償費1,450万円を計上、道路メンテナンス事業につきましては、委託料を1,450万円減額し、工事費を1,750万円増額いたしております。

教育費におきましては、学校ICT機器購入費の入札残1,000万円を減額し、文化交流センター空調設備修繕工事費500万円を計上いたしております。

災害復旧費におきましては、7月豪雨による林道施設等災害復旧工事費6,000万円、公共土木施設に係る災害復旧工事費9,238万8,000円を計上。

公債費におきましては、町債繰上償還元金の1,056万3,000円を計上いたしております。

続きまして、議案第74号、令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)から議案第79号、令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)までにつきましては、事務処理システム等導入費や前年度決算に伴う返還金、一般会計繰出金、予備費等、必要経費を補正しているところでございます。

以上で、提案理由の説明を終わりますが、詳細につきましては担当課長に説明をいたさせますので、慎重なるご審議をいただき、速やかなるご議決をお願いいたします。提案理由の説明といたします。

○議長(吉田美好君) 以上で、町長提出議案の提案理由説明を終わります。

-----○-----

日程第6 議案第62号 専決処分事項(令和2年度美里町一般会計補正予算〔第9号〕)の報告及び承認を求めることについて

○議長(吉田美好君) 日程第6、議案第62号、専決処分事項(令和2年度美里町一般会計補正予算〔第9号〕)の報告及び承認を求めることについてを議題とします。内容説明を求めます。宮寄総務課長。

○総務課長(宮寄幸仁君) 議案第62号について、説明申し上げます。

専決処分事項(令和2年度美里町一般会計補正予算〔第9号〕)の報告及び承認を求めることについて

地方自治法第179条第1項の規定により、令和2年度美里町一般会計補正予算(第9号)について別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めます。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由でございます。予算を定めるときは、地方自治法第96条第1項の規定により、議会の議決を経る必要がありますが、緊急に干害応急対策に所要の補正を行う必要が生じ、議会を招集する時間的余裕がなかったため、同法第179条第1

項の規定により専決処分いたしましたので、同条第3項の規定により、これを報告し承認を求めるものでございます。

次のページをお開き願います。

専決第14号の専決処分書でございます。令和2年8月24日に専決処分を行っております。別冊の令和2年度一般会計補正予算書（第9号）の1ページをお開き願います。

専決第14号、令和2年度美里町一般会計補正予算（第9号）

令和2年度美里町の一般会計の補正予算（第9号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ100万円を追加し、歳入歳出予算の総額を82億9,388万3,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の総額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和2年8月24日専決 美里町長 上田泰弘

4ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書の2、歳入でございます。

款の18繰入金、項の1基金繰入金におきまして、本補正予算の事業実施の財源としまして、財政調整基金繰入金100万円を計上いたしております。

その下、3の歳出でございます。

款の5農林水産業費、項の1農業費、目の6農地費におきまして、干害応急対策事業補助金100万円を計上いたしております。

これは、8月23日をもって、補助要綱の30日雨量が100ミリ以下となり、水稻作における揚水ポンプ購入や燃料費の40%を補助する上限10万円の補助を行うための補助金でございます。

以上で、議案第62号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、内容説明を終わります。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第62号、専決処分事項（令和2年度美里町一般会計補正予算〔第9号〕）の報告及び承認を求めることについては、原案のとおり承認することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがいまして、議案第62号、専決処分事項（令和2年度美里町一般会計補正予算〔第9号〕）の報告及び承認を求めることについては、原案のとおり承認をされました。

ここでしばらく休憩をいたします。再開を11時5分とします。

-----○-----

休憩 午前10時52分

再開 午前11時05分

-----○-----

○議長（吉田美好君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

-----○-----

日程第7 議案第63号 美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について

○議長（吉田美好君） 日程第7、議案第63号、美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定についてを議題とします。

内容説明を求めます。宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） 議案第63号について、説明申し上げます。

美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について

美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例を別紙のとおり定める。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由でございます。地方自治法（昭和22年法律第67号）及び地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）の改正により、地方公共団体の長等の損害賠償責任の見直しが可能となったため、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない場合の賠償責任額を限定して免除する旨の条例を制定する必要があるため提案するものでございます。

この地方自治法改正の背景には、近年の住民訴訟における4号請求、損害賠償請求や不当利得返還請求の増加があり、中には地方公共団体の長や職員等に対し、1億円以上の損害賠償請求が言い渡された事例もあります。このことが柔軟な職務遂行を委縮させ、多額賠償による議会の債権放棄議決の原因ともなっていることから、

地方公共団体の長や職員等の行政執行の適正さを確保するとともに、国家賠償法とのバランスをとるため法改正がなされ、これを受けて今回の条例制定を行うものでございます。

次のページをお開き願います。

美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例

第1条は主旨でございます。

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の2第1項の規定に基づき、町長若しくは委員会の委員若しくは委員又は職員（同法第243条の2の2第3項に規定する賠償命令の対象となる者を除く。以下「町長等」という）の町に対する損害を賠償する責任の一部を免れさせることに関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条に損害賠償責任を免れさせる額を規定しております。

第2条 町長等の町に対する損害を賠償する責任については、町長等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、町長が賠償の責任を負う額から、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第173条第1項第1号に規定する普通地方公共団体の長等の基準給与年額に、次の各号に掲げる町長等の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める数を乗じて得た額を控除して得た額について免れさせるものとする。

大変わかりにくい言い回しになっておりますが、それぞれの役職ごとの基準給与年額に以下の各号の乗数を掛けたものが限度額となるものでございます。

第1号 町長6、第2号 副町長、教育委員会の教育長若しくは委員、選挙管理委員会の委員、監査委員4、第3号 農業委員会の委員、固定資産評価審査委員会の委員2、第4号 前2号に掲げる職員を除く職員1

第3条は委任に関する規定でございます。

この条例の施行に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附則、この条例は、公布の日から施行するをいたしております。

以上で、議案第63号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、内容説明を終わります。

なお、本条例の制定につきましては、地方自治法第243条の2第2項により、監査委員から意見を求めることとなっており、同条第3項に基づき適正である旨の意見書が提出されておりますので報告いたします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第63号、美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定については、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第63号、美里町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定については、原案のとおり可決されました。

-----○-----

日程第8 議案第64号 美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（吉田美好君） 日程第8、議案第64号、美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

内容説明を求めます。中村福祉課長。

○福祉課長（中村武志君） 議案第64号につきまして、ご説明申し上げます。

議案第64号、美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由でございます。特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、関係条例を改正する必要性が生じたため提案するものです。

次のページをお願いいたします。

美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（平成26年美里町条例第17号）の一部を次のように改正する。

説明資料として提出しております、別添の議案第64号の資料をお願いいたします。新旧対照表です。左の欄が改正前、右の欄が改正後でございます。なお、今回の改正において用語の整備を行っております。条例中の改正前、「支給認定」「支給認定保護者」「支給認定子ども」などの用語を、改正後「教育・保育給付認定」「教育・保育給付認定保護者」「教育・保育給付認定子ども」にそれぞれ改めるものです。

また、国においては、3歳以上の子どもの副食費について実費徴収することとなっておりますが、本町では子育て世帯の負担軽減を図るため、町独自に本年度より副食費の無償化を行うこととしております。

1ページをお願いいたします。改正後第2条において、満3歳以上、満3歳未満の副食費の徴収が異なるため、第12号から、次のページの第16号を加えるものです。

続きまして、3ページをお願いいたします。改正後第3条において、事業者の一般原則として、保護者の経済的負担の軽減の配慮について規定したものです。

6ページをお願いいたします。第13条、利用者負担額等の受領についてです。

次のページをお願いいたします。次のページの最後の段です。改正後第13条第4項第3号の副食費の免除について規定しております。

なお、本町では先ほどご説明いたしましたとおり、令和2年度から副食費の無償化を行っております。

15ページをお願いいたします。改正後第35条において、特別利用保育の基準、次のページ、16ページをお願いいたします。改正後36条で特別利用教育の基準について、それぞれ定めております。

続きまして、20ページをお願いいたします。改正後第42条、特定教育・保育施設等との連携について定めております。

次のページ、21ページをお願いいたします。改正後第42条第2項において、特定地域型保育事業者による代替保育の提供に係る連携施設の確保が、著しく困難な場合は適用しないことができる旨の規定です。同じく第3項において、特定地域型保育事業者による代替保育に係る連携協力を行うものとして、適切に確保しなければならない旨の規定です。

続きまして、22ページをお願いいたします。同じく第4項において、特定地域型保育事業者による満3歳未満保育認定子どもが、当該特定地域型保育の提供の終了に際して、当該連携施設の確保が著しく困難であると認めるときは適用しない旨の規定です。

続きまして、同じく第5項において、児童福祉法に規定する定員20名以上の施

設で、満3歳未満保育認定子どもが特定地域型保育の提供の終了に際して、連携協力を行うものとして適切に確保しなければならない旨の規定です。

23ページをお願いいたします。第8項において、保育所型事業所内保育事業を行う者について、町長が適当と認める者については、連携施設の確保をしないことができる規定をそれぞれ国の基準に合わせて新設しております。

27ページをお願いいたします。改正後第50条において、特定地域型保育事業者、特定地域型保育事業所及び特定地域型保育の準用について規定しております。

28ページをお願いいたします。改正後第51条では、特別利用地域型保育の基準、飛びまして30ページをお願いいたします。改正後第52号で、特定利用地域型保育の基準について、それぞれ国の運営基準に合わせて改正しております。

31ページをお願いいたします。附則です。

次のページ、32ページをお願いいたします。改正前附則第4項及び第5項において、施設型給付費等に関する経過措置についてそれぞれ規定しておりますが、利用者負担額に関するものですので、今回の条例の改正に伴い削除するものです。

再度、改正条文をお願いいたします。附則でございます。

この条例は、公布の日から施行するものです。

以上で、議案第64号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、内容説明を終わります。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第64号、美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第64号、美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定については、原

案のとおり可決されました。

-----○-----

**日程第9 議案第65号 美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定
について**

○議長（吉田美好君） 日程第9、議案第65号、美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

内容説明を求めます。宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） 議案第65号について、説明申し上げます。

美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定について

美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由でございます。部落差別の解消の推進に関する法律（平成28年法律第109号）をはじめ様々な法律の施行により、本町の人権擁護に関する条例の改正の必要があるため提案するものでございます。

部落差別の解消の推進に関する法律におきましては、その中に、現在も部落差別が存在すると認めたとえ、その解消に関する施策及び教育・啓発の実施、相談体制の充実を国及び地方関係の責務として位置づけられました。さらに、他の差別解消に向けた関係法令を受けて、地方自治体における条例の整備の機運が高まってまいりました。管内の3市町で構成する宇城地域人権危機管理連絡協議会の中でも、3市町が歩調を合わせて条例整備をすることで進めてきており、今回、条例改正を提案したところでございます。

次のページをお開き願います。

美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例

内容につきましては、別冊の議案第65号資料にて説明申し上げます。

美里町人権擁護に関する条例の新旧対照表でございます。左が改正前、右が改正後となっております。

まず、題名「美里町人権擁護に関する条例」を「美里町部落差別等をなくし人権を擁護する条例」に改めております。

第1条において、「すべて」のところを漢字の「全て」に改め、「日本国憲法」のあと「に基づき」を、「基本理念並びに人権教育及び人権啓発の推進の法律（平成12年法律第147号）、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）、本邦出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（平成28年法律第68号）及び部落差別の解消の推進に関する法律（平成28年法律第109号）その他差別の解消を目的とした法令の趣旨

にのっとり」に改め、「部落差別をはじめ」のあとの「障害者」、これをひらがな表記を含めた「障がい者」に改めております。

第2条におきましても、行政の「すべて」のところの「すべて」を漢字の「全て」に改めております。

第4条第1項のあとに、第2項としまして「2 前項の施策を推進するために、国、県及び各種関係団体と連携を図り、必要に応じて人権に関する調査を行うものとする。」を加えております。

第4条第2項のあとに、相談体制の充実に関する1条を加え、これを第5条とし、「第5条 町は国及び県との適切な役割分担を踏まえ、差別に関する相談に（次のページをお願いします）的確に応ずるための体制の整備に努めるものとする。」といたしております。

以下、改正前の第5条から第8条まで、条番号を繰り下げております。

第7条において、旧6条を第7条にしておるところにおいて、県のあとに「、近隣自治体」を加え、そして8条において、「町は」のあと、「人権擁護に関する」を「第4条に規定する町の施策の」に改めたものでございます。

議案集にお戻り願います。

附則でございます。

この条例は、公布の日から施行する、といたしております。

以上で、議案第65号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、内容説明を終わります。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第65号、美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがいまして、議案第65号、美里町人権擁護に関する条例の一部を改正する

条例の制定については、原案のとおり可決されました。

-----○-----

- 日程第 10 議案第 66 号 令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 11 議案第 67 号 令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 12 議案第 68 号 令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 13 議案第 69 号 令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 14 議案第 70 号 令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 15 議案第 71 号 令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 16 議案第 72 号 令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○議長（吉田美好君） 日程第 10、議案第 66 号、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定についてから、日程第 16、議案第 72 号、令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてまでの 7 案件についてを、一括して議題としたいと思います。

お諮りします。日程第 10、議案第 66 号から、日程第 16、議案第 72 号までの 7 案件についてを一括議題とし、本日は内容説明のみ行い、質疑・討論・採決は最終日に行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第 66 号から、議案第 72 号までの 7 案件を一括議題とし、本日は内容説明のみを行い、質疑・討論・採決は最終日に行うことに決定をしました。

それでは、議案第 66 号から、議案第 72 号までの決算認定についてを一括して議題といたします。

議案第 66 号から議案第 72 号まで、続けて内容説明を求めます。

会計管理者、池永会計課長。

○会計課長（池永英治君） それでは、議案第 66 号から、議案第 72 号につきまして、内容の説明をいたします。

令和元年度下益城郡美里町決算書をご覧ください。

一般会計並びに6つの特別会計の決算書となっております。見出しの次のページをお開きいただきますと、議案書となっております。

それでは最初に、一般と書いてある見出しをお開きください。

議案第66号につきまして、ご説明いたします。

議案第66号、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について

地方自治法第233条第3項の規定により令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由。地方自治法第233条第3項の規定により普通地方公共団体の長は、監査委員の審査に付した決算を監査委員の意見を付けて、議会の認定に付さなければならぬため、提案するものであります。

2ページから3ページにつきましては、総括表となっております。また、4ページから17ページまでが決算書となっております。

それでは、19ページをお開きください。

実質収支に関する調書、一般会計。歳入総額90億8,473万2,860円に對しまして、歳出総額86億3,607万3,553円となっております。歳入歳出差引額は4億4,865万9,307円となっております。

次に、翌年度へ繰越すべき財源につきましては、継続費繰越額はございません。繰越明許費繰越額が2億5,771万5,755円となっております。また、事故繰越繰越額は71万9,998円となっており、計の2億5,843万5,753円となっております。

なお、繰越明許、事故繰越の詳細につきましては、9月の定例会議での報告第1号並びに第2号に添付されている計算書のとおりとなっております。

次に、歳入歳出差引額から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質収支額は、1億9,022万3,554円となっており、令和2年度への繰越金となります。

また、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入はございません。

以下のページにつきましては、事項別明細書、財産に関する調書、附属資料となっております。

これで、議案第66号の説明を終わります。

次に、「国民健康」と書いてある見出しをお開きください。議案第67号につきまして、ご説明いたします。

議案第67号、令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

地方自治法第233条第3項の規定により令和元年度美里町国民健康保険特別会

計歳入歳出決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由につきましては、議案第66号と同じとなっております。308ページから315ページまでが総括表並びに決算書となっております。

それでは、317ページをお開けください。実質収支に関する調書、国民健康保険特別会計。歳入総額14億6,987万4,961円に対しまして、歳出総額14億861万1,157円となっており、歳入歳出差引額は6,126万3,804円となっております。翌年度へ繰越すべき財源はありません。実質収支額は6,126万3,804円となっており、令和2年度への繰越金となります。

以下のページにつきましては、事項別明細書、財産に関する調書、附属資料となっております。

これで、議案第67号の説明を終わります。

次に、「土地取得」と書いてある見出しをお開きください。議案第68号につきまして、ご説明いたします。

議案第68号、令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について地方自治法第233条第3項の規定により令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由につきましては、議案第66号と同じとなっております。

362ページから367ページまでが総括表並びに決算書となっております。

それでは、369ページをお開けください。実質収支に関する調書、土地取得特別会計。歳入総額10万6,389円に対しまして、歳出総額6,250円となっており、歳入歳出差引額は10万139円となっております。翌年度へ繰越すべき財源はありません。実質収支額は10万139円となっており、令和2年度への繰越金となります。

以下のページにつきましては、事項別明細書、財産に関する調書、附属資料となっております。

これで、議案第68号の説明を終わります。

次に、「介護保険」と書いてある見出しをお開きください。議案第69号につきましてご説明いたします。

議案第69号、令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について地方自治法第233条第3項の規定により令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由につきましては、議案第66号と同じとなっております。

392ページから401ページまでが、総括表並びに決算書となっております。

それでは、403ページをお開けください。実質収支に関する調書、介護保険特別会計。歳入総額20億6,514万5,720円に対しまして、歳出総額20億3,278万1,809円となっており、歳入歳出差引額は3,236万3,911円となっております。翌年度へ繰越すべき財源はありません。実質収支額は3,236万3,911円となっており、令和2年度への繰越金となります。

以下のページにつきましては、事項別明細書、財産に関する調書、附属資料となっております。

これで、議案第69号の説明を終わります。

次に、「生活排水」と書いてある見出しをお開きください。議案第70号につきまして、ご説明いたします。

議案第70号、令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定について
地方自治法第233条第3項の規定により令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由につきましては、議案第66号と同じとなっております。444ページから451ページまでが総括表並びに決算書となっております。

それでは、453ページをお開けください。実質収支に関する調書、生活排水特別会計。

歳入総額1億7,887万1,600円に対しまして、歳出総額1億7,319万4,743円となっており、歳入歳出差引額につきましては、567万6,857円となっております。翌年度へ繰越すべき財源はありません。実質収支額は567万6,857円となっており、令和2年度への繰越金となります。

以下のページにつきましては、事項別明細書、財産に関する調書、附属資料となっております。

これで、議案第70号の説明を終わります。

次に、「後期高齢」と書いてある見出しをお開きください。議案第71号につきましてご説明いたします。

議案第71号、令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

地方自治法第233条第3項の規定により令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由につきましては、議案第66号と同じとなっております。

408ページから485ページまでが、総括表並びに決算書となっております。

それでは、487ページをお開きください。実質収支に関する調書、後期高齢者医療特別会計。歳入総額1億4,921万4,741円に対しまして、歳出総額1億4,733万4,276円となっており、歳入歳出差引額につきましては、188万465円となっております。翌年度へ繰越すべき財源はありません。実質収支額は188万465円となっており、令和2年度への繰越金となります。

以下のページにつきましては、事項別明細書、財産に関する調書、附属資料となっております。

これで、議案第71号の説明を終わります。

次に、「簡易水道」と書いてある見出しをお開きください。議案第72号につきまして御説明いたします。

議案第72号、令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

地方自治法第233条第3項の規定により令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由につきましては、議案第66号と同じとなっております。

514ページから519ページまでが、総括表並びに決算書となっております。

それでは、521ページをお開きください。実質収支に関する調書、簡易水道事業特別会計。歳入総額2億7,706万9,527円に対しまして、歳出総額2億7,430万8,270円となっており、歳入歳出差引額は276万1,257円となっております。翌年度へ繰越すべき財源はありません。実質収支額は276万1,257円となっており、令和2年度への繰越金となります。

以下のページにつきましては、事項別明細書、財産に関する調書、附属資料となっております。

これで、議案第72号の説明を終わります。

以上で、議案第66号から議案第72号までの決算認定にかかる説明を終わらせていただきます。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第66号から議案第72号までの内容説明を終わります。

ここで、しばらく休憩をします。再開を午後1時といたします。

-----○-----

休憩 午前11時46分

再開 午後 1時00分

-----○-----

○議長（吉田美好君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

-----○-----

日程第17 報告第4号 令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

○議長（吉田美好君） 日程第17、報告第4号、令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告についての報告を求めます。宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） 報告第4号について、説明申し上げます。

令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、別紙のとおり令和元年度美里町財政健全化判断比率及び資金不足比率を監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

提案理由でございます。地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、地方公共団体の長は、監査委員の審査に付した健全化判断比率及び資金不足比率を監査委員の意見を付けて議会に報告しなければならないため提案するものでございます。

次のページをお開き願います。

まず、健全化判断比率報告書です。表をご覧ください。一般会計の赤字の程度を示す実質赤字比率及び全ての会計を合算し、その赤字の程度を示す連結実質赤字比率につきましては、共に赤字ではないため、比率が算定されませんので、ハイフンで表示いたしております。地方債の返済の比重を示す実質公債費比率につきましては、昨年度より0.3%高い5.9%となっておりますが、町の早期健全化基準の25%を下回っております。地方債など、将来負担すべき実質的な負債の程度を示す将来負担比率につきましても、赤字ではありませんので、ハイフンで表示いたしております。いずれも健全な範囲にあると判断しております。

次のページをお開き願います。

資金不足比率報告書です。表をご覧ください。表に記載しております2つの特別会計につきましては、いずれも資金不足ではありませんので、比率は算定されず、全てハイフンで表示いたしております。こちらも健全な範囲にあると判断しております。

以上で、報告第4号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、報告第4号、令和元年度美里町財政健全化判断比率及

び資金不足比率の報告についての報告を終わります。

-----○-----

日程第 18 監査委員意見書説明

○議長（吉田美好君） 日程第 18、監査委員の意見書説明を求めます。4番、坂田竜義君。

○4番（坂田竜義君） 8月20日に、町長に対しまして、令和元年度美里町一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見書を提出をいたしました。これは地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された令和元年度美里町一般会計及び特別会計歳入歳出決算、証書類、その他政令で定める書類の審査を終了いたしましたので、その結果について意見書を提出をいたしました。1ページから要約して報告をいたします。

まず、令和元年度美里町一般会計及び特別会計歳入歳出審査意見書
審査について

審査の対象については、(1)から(8)まで掲げております、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算からですね、7番目の令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算、8番目の上記各会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出事項別明細書、財産に関する調書及びこれらに関する証書類が審査の対象でございます。

決算書の調整並びに提出時期については、地方自治法第233条第1項及び第2項によりますが、決算整理事務が迅速に行われ、会計管理者から町長に対する決算書の提出及び町長から監査委員に対する決算書審査依頼について、法定の期限内に提出されております。

審査の期間については、令和2年7月28日から29日、30日、8月4日、5日、7日、12日、17日の8日間でございます。

審査の範囲。この審査に当たっては、町長から提出された各会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出事項別明細書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、財政運営は健全か、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼を置き、関係諸帳簿及び証書類との照合を行い、必要に応じて関係各課から資料の提出を求め、関係職員の説明を聴取し、また例月現金出納検査等の結果を参考として、計数の正確性等について審査を実施いたしました。

審査の結果。審査に付された令和元年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算額は、(表1)のとおりで、審査に当たっては監査基準並びに重点審査事項について審査したが、違法な点は見受けられず、かつ関係諸帳簿及び証書類と合致しており、

その計数は正確であることを確認をいたしました。また、予算の執行状況についても適正であると認められた。

以下、(表1)が令和元年度歳入歳出決算額の表でございます。まず、一般会計について、要約して申し上げます。

(1) 歳入について

歳入総額は(表2)のとおり、(表2)は、次の3ページ以降にあります、(表2)のとおり90億8,473万2,860円で、前年度に比べ6億664万769円の減額となっております。

歳入の主なものは、地方交付税31億6,714万円(構成比:34.9%)、国庫支出金13億6,381万7,297円(同:15.0%)、町債12億9,238万8,000円(同:14.3%)等でございます。

増額となったもの、減額となったものについては、以下の文章のとおりでございます。

3ページ、4ページが歳入決算額の状況が(表2)、歳入決算額の状況(表3)ということで記載のとおりでございますので、お読み取りいただきたいと思っております。

(表4)については、自主財源・依存財源の状況を示しております。その下に、最近5カ年の地方交付税の交付状況というのが(表5)ということで示しております。令和元年度につきましては前年度よりもですね、一番下の欄を見ていただくと、決算構成比で34.9ということで、若干昨年よりも構成比としては上がっておるという状況でございます。

(2) の歳出。

歳出総額は(表6)のとおりでございます、86億3,607万3,553円で、民生費19億1,848万8,725円(構成比:22.2%)、総務費13億7,181万5,301円で(同:15.9%)、土木費10億290万8,677円(同:11.6%)、公債費9億8,651万6,636円(同:11.4%)、災害復旧費8億2,386万1,920円(同:9.5%)、農林水産業費5億1,993万6,406円(同:6.0%)などとなっております。

増額となったもの、減額となったものという明細につきましては、この文章に記載のとおりでございます。

6ページの(表6)につきましては、歳出決算額の状況を示しております。(表7)には、財政諸指数の推移を示しております。令和元年度につきましては、先ほど総務課長から報告ございましたように、財政力指数は変わりません。経常収支比率が若干上がりまして94.4、実質公債費比率は、これも0.3上がりまして5.9と、将来負担比率はハイフンという状況となっております。

7 ページの歳出決算額の状況（表 8）は、議会費からその状況を表に示しておりますので、お読み取りいただきたいと思ひます。

特別会計でございます。

まず、国民健康保険特別会計。平成 30 年度から施行された国民健康保険制度の改革により、財政の主体が県に移管され、県段階に保険給付費等交付金が創設されたため、国庫等からの各種負担金、補助金及び交付金の市町村への直接交付は廃止されたところであります。

歳入総額は（表 9）のとおり 14 億 6,987 万 4,961 円で、その主なものは県支出金が 71.2%、国民健康保険税が 16.1%、繰入金が 7.3%となっております。予算に対する収入割合は 100%でございます。

収入済額、歳出総額等についてはですね、記載のとおりであります。令和 2 年 3 月末の被保険者数は 2,538 人、前年度比 78 人減、こういう状況になっております。保険給付件数は 5 万 3,458 件で、前年比の 1,632 件の減と、被保険者一人当たりの給付費は 39 万 8,024 円、前年比の 2 万 3,904 円の増と、こういう状況になっております。被保険者数、保険給付費件数ともに減少しましたが、一人当たりの給付費は増えてるということでございます。

この国保の歳入決算額の状況については（表 9）のとおりでございます。国保の歳出決算額の状況は（表 10）に示しておるとおりでございます。

2 番目の土地取得特別会計であります。歳入総額は（表 11）のとおり、10 万 6,389 円で、繰越金が 10 万 139 円でございます。94.1%、こういう状況になっております。明細は（表 11・12）のとおりでございます。

続きまして、3 番目の介護保険特別会計でございます。

歳入総額は（表 13）のとおりで、20 億 6,514 万 5,720 円となっております。その主なものは国庫支出金 5 億 5,046 万 7,489 円、構成比が 26.7%、支払基金交付金が 25.5%、繰入金 16.4%、保険料 14.5%の構成比となっております。

歳出総額は（表 14）のとおり、20 億 3,278 万 1,809 円、主なものは保険給付費 89.4%、地域支援事業費 6.3%、総務費 2.1%等となっております。

令和 2 年 3 月末の被保険者数は 4,340 人で、前年比の 12 人増でございます。保険給付件数は 2 万 8,329 件、前年度比 1,862 件の増、被保険者一人当たりの給付費は 41 万 8,630 円となっております。前年比の 4 万 3,253 円の増となっております。

歳入決算・歳出決算の状況は（表 13）、（表 14）のとおりでございます。

4 番目、生活排水特別会計でございます。

歳入総額は（表15）のとおり1億7,887万1,600円でございます。その主なものは使用料及び手数料の7,256万で構成比40.6%、繰入金が38.1%、国庫支出金9.2%、町債6.9%などとなっております。

歳出総額は（表16）のとおり1億7,319万4,743円で、その主なものは総務費1億390万円（構成比60.0%）、事業費4,454万円（25.7%）、公債費2,474万（14.3%）になっております。

令和2年3月末現在の浄化槽管理基数は、1,713基でありまして、前年度比の40基増でございます。2か月に1回の点検と年1回の清掃及び法定検査が実施されております。

5番目の後期高齢者医療特別会計でございます。

歳入総額は（表17）のとおり1億4,921万4,741円で、その主なものは後期高齢者医療保険料8,261万で構成比55.4%、繰入金6,460万の43.3%となっております。

歳出総額は（表18）のとおりで1億4,733万円でございます。その主なものは後期高齢者医療広域連合納付金が98.6%、もう大半がこれでございます。総務費が1.4%ということになっております。

実質収支等については記載のとおりであります。

令和2年3月末の被保険者数は、2,565人で前年比の25人減と。保険給付件数は8万268件、前年比の543件減。被保険者一人当たりの給付費は103万91円で前年比の8万1,315円の減となっております。依然として高額になっております。

後期高齢者の歳入決算・歳出決算は、（表17・18）のとおりでございます。

次に13ページの、6番、簡易水道事業特別会計でございます。

これ、ご承知のように、砥用の東・西の会計が分かれておりましたけど、これ一本化されまして、簡易水道事業特別会計ということになっております。

歳入総額は（表19）のとおり、2億7,706万円でございます。その主なものは使用料及び手数料の1億734万円（構成比38.8%）、繰入金（37.7%）となっております。

歳出総額は（表20）のとおりでありまして、2億7,430万8,270円で、公債費が（45.3%）、総務費が（54.7%）となっております。

実質収支等の内容については記載のとおりであります。

簡易水道事業の令和2年3月末現在の加入戸数は1,987戸、前年比の19戸増で、給水人口は4,718人、前年度比95人減でありまして、一戸当たりの使用量は前年と同じく20トンと、月平均の20トンと、こういうことになっており

ます。

簡易水道の歳入決算・歳出決算の状況は、（表の19・20）のとおりであります。

財政運営の状況について報告します。

一般会計における実質収支状況は、歳入総額90億8,473万、歳出総額は86億3,600万で、翌年度へ繰越すべき財源2億5,843万円を差し引きますと、1億9,022万3,554円の黒字となっております。前年度の実質収支3億9,890万8,726円を差し引いた単年度収支では2億868万5,172円の赤字ということになっております。

歳入・歳出の増減の特徴的な部分を示しております。

歳入の増額については、1番目が町債ですね。緊急防災減災事業債の増ということで105.8%、諸収入、町道改良山都町負担金の増、町税、固定資産税の償却資産の増等が特徴でございます。

歳入の減につきましては、国庫支出金、災害復旧事業費・災害公営住宅整備事業補助金の減、県支出金の減が特徴でございます。

歳出の増額につきましては、教育費の小・中学校空調機設置事業の増が主な要因になっております。公債費も若干伸びているということでございます。消防費も消防車両購入費の増で、増の一因になっております。

歳出の減額につきましては、災害、28・29の災害復旧がかなり、ほとんど進んでおります関係で災害復旧費が減、土木費が減、総務費・農林水産費が減ということで、ここに記載のとおりでございます。

（表7）の財政諸指数については先ほど述べましたので、省略をいたします。

次の15ページですが、経常収支比率は財政構造の弾力性を判断する指標ということで言われておまして、75%程度に収めるのが妥当だと言われますけれども、本年度は94.4%と前年度から1.9%上がっております。地方財政が悪化している今日、ほとんどの町村で要注意とされる80%を超える中ではありますが、財政の弾力性を失わないよう心を配る必要があるというふうに思います。実質公債費率は5.9%で、将来負担比率は計上されず適性の範囲であります。

一時借入金については記載のとおりであります。

予算の流用状況についてもですね、この記載のとおりでございます。

不用額についても、決算書に明細示されているとおりで、ここに記載のとおりでございます。

予備費の充用については、一般会計において14件、324万7,198円ございました。一般会計では6件増、国民健康保険で1件、7万3,000円となって

おります。

以下、一般会計・特別会計合わせての件数とか充用額等について、増加しておりますけれども、事務手続きについては町の財務規則に則って適正に処理されております。

次に、契約・入札関係ですが、契約については、財務規則に基づき処理されております。入札は、指名審査会で入札参加者等の審査を経て適正に処理されており、公平性、透明性を期すための措置として、指名から入札・契約締結までを総務課行革管財係で担当している。また、平成28年度から電子入札システムが導入され、事務の効率化と入札の公平性、透明性がさらに図られております。

工事入札の指名審査会の状況、公共工事等の発注状況についてはここに記載のとおりでございます。

指摘・要望事項の自主的実行についてであります。収入未済額は町民税が39万7,732円、前年比の2万1,960円増、徴収率が98.6、前年と同じであります。固定資産税が766万2,010円、73万6,475円の増、徴収率98.1、0.1の減と、こういう状況になっております。ほかの軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料等については記載のとおりであります。

令和元年度においても、滞納者の実態調査を行うなど財産の把握に努め、差押等の処分が実施され、特に高額・悪質・長期滞納者については、熊本県及び上益城郡4町と併任徴収の協定を結び、搜索・差押のほか、合同公売会やインターネット公売会等による差押財産の換価を行っており、徴収率の向上に向けた取り組みに努力の跡が見られます。

以下、個人住民税の状況等については、記載のとおりでございます。

17ページ、不納欠損について記載しておりますが、不納欠損された額は令和元年度において一般会計・特別会計合わせて、460万5,914円（前年比の39万5,021円減）でございます。一般会計では、町税が172万7,034円、町民税が54万1,311円、固定資産税111万5,600円、軽自動車税7万123円等となっております。

また、平成21年度から県との合同搜索を実施し、滞納者への差し押さえを行っておりますが、不納欠損処分した金額は昨年度より39万5,021円減額したものの依然多額となっております。

税収は本町財政の重要な財源でありますので、不納欠損処理の執行に当たっては、善良なる納税者との関係を考慮して、慎重な対応を望むものであります。

3番目、町営住宅使用料については、収入未済額が1,616万円（前年比の94万8,000円増）でございます。保育所保護者負担金の収入未済額も187万

5,000円と若干減ってはおりますけれども、そういう、また多額に上っております。

水道使用料や生活排水使用料と併せて、奨学金や防災行政無線使用料等について、重複して滞納状態になっている件も多々見受けられます。担当課並びに美里町債権収納対策機構において、徴収に一層の努力を望むものであります。

総括的意見でございます。

令和元年度美里町一般会計及び特別会計（国民健康保険・土地取得・介護保険・生活排水・後期高齢者医療・簡易水道）の歳入歳出決算書並びに基金運用状況審査の結果については、証書類・諸帳簿等も整理され、会計経理も適正であり、計数に誤りもなく、正確であることを認めたとところであります。

その中で、経常収支比率が94.4と、過去3年間で4.4%も上昇しております。これは平成20年度以来の高率でございます。

「公共施設等マネジメント計画」を進めるためにも、財政構造の弾力性と公共施設の整備など投資的な経費に充てる財源を維持する必要があると考えます。

森林体験公園施設（フォレストアドベンチャー）の令和元年度の利用者は1万3,943人（前年度比の95.4%）、施設利用料は5,224万円で、同95.7%という状況になっております。利用者はやや減少しましたが、町の観光拠点になっております。当面、利用者からの要望も多い「食事をする処」と併せて、遊具の利用制限を考慮した「子どもの遊び場」等についても検討してはどうかということでございます。

また、本年度から指定管理者の管理になりましたが、コロナの関係で非常に入場者は減っているというふう聞いておりますが、ダム湖周辺の施設と一体的な管理と併せて、さらに既存の日本一の石段・元気の森（かじか）・道の駅美里（佐俣の湯）・家族旅行村・よんなっせ等々との一体的な発展を指導していただきたいということでございます。

また、その他の指定観施設については、来年度からの更新に向け準備中ではありますが、過去5年間の実績を十分検証し、従業員の雇用の安定確保、施設の適正な管理運営等を考慮して、優良な企業を選定していただきたいと。

平成30年10月から運航を開始しました美里バスについては、住民からの苦情・要望に基づき国土交通省との協議を行うなど、様々な改善対策が講じられたことにより、開始当初に比べ利用者が増加したことは評価したい。今後も利用者のニーズに沿った利用しやすい公共交通の構築を目指して努力していただきたいということです。

子どもの教育環境の整備については、ICTを活用した教育の実現のため、令和

元年度に励徳小学校をICTモデル校として機器の導入など整備されております。また、令和2年度には町内小・中学校を対象に1億8,930万円の予算措置がなされておりまして、国が進めている「GIGAスクール構想」の実現に向け、ICTを有効活用した授業の計画的な推進に努められたいということでございます。

「自主防災組織」については、現在59組織（前年から3組織増えております）が災害発生時の自助・共助の組織的な取り組みを模索しております。高齢化や組織員の減少等で活動が停滞しているとの話も聞きますが、災害は昼間・夜間を問わず発生をいたします。組織の中にどんな活動をするか苦慮しているところもあると思われるので、59組織のリーダー達を集い、意見交換や選考自衛の紹介、消防署や警察署からのアドバイス等をいただく機会を設けるなど、町の継続的な指導を望みます。

中央地区の上水道施設の整備については、本町の重要課題であります。令和元年度には、小笹地区水源地の電気探査を完了している。安心・安全な水を確保給水することで、地域住民の健康維持や人口の増加・企業誘致なども期待できることから、美里町簡易水道施設の検証と併せ、新たな水源の確保など計画的に推進されたい。

公共施設等マネジメント計画は平成28年度から40年間の長期計画である。個別の施設の運用、管理計画の策定状況は町行政系施設個別施設計画など6項目は策定済み、上水道長寿命化計画など7項目が未策定となっております。ある程度スピード感をもって廃止すべきもの、売却すべきもの、管理を移すべきもの等の仕分けをされたい。

保険事業の歳出総額の動向は、国民健康保険（前年比の99.2%）、介護保険（106.9%）、後期高齢者医療保険（100.7%）となっております。医療費抑制のためには予防に力点を置き、健診受診率のさらなる向上により、早期発見・早期治療に注力されたい。

美里町産業連携協議会は、「観光」「商品」「民泊」「情報発信」の4部会を置き、活発な動きが見えております。令和元年度で「地方創生交付金対象事業」は一区切りがつき、既に新たな3か年計画が推進されている。コロナ禍で厳しい環境ではあるが、さらなる発展を期待したい。

本町の財政状況は、平成28年熊本地震および豪雨災害以降の復旧復興経費の財源確保や、普通交付税（合併算定替え）の段階的縮減がなくなる令和2年度からの一本算定や、公共インフラ資産の更新等への対応が必要となります。

また、宇城広域連合における大規模設備整備事業（ごみ処理施設、浄化センター、消防本部庁舎建設）の後年度負担金等に、中長期的な財政支出を要することとなり、一段と厳しい財政運営が予想されます。このためにもさらなる自主財源の確保と公

債費等の抑制、行財政運営の効率化の推進と徹底した歳出見直しや縮減を進め、弾力性のある健全な財政運営ができるよう、さらに努力されるよう要望いたします。

続きまして、令和元年度美里町財政健全化判断比率・資金不足比率に関する審査意見書についても、8月20日に町長に対しまして提出をしております。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、令和2年7月8日付で審査に付された令和元年度美里町財政健全化判断比率・資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査を行ったので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

20ページ、令和元年度財政健全化審査意見書

1、審査の概要 この財政健全化審査は、町長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施をした。

審査の結果 総合的意見 審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記 この表は、記載のとおりお読み取りいただきたいと思います。

(2) 個別意見

①実質赤字比率について、令和元年度も実質赤字額がないことから比率も算定されなかった。早期健全化基準の15.00%未満であり、健全な範囲にあると認められる。

②連結実質赤字比率について

令和元年度も実質赤字比率と同様、比率が算定されなかった。早期健全化基準の20.00%未満であり、健全な範囲にあると認められる。

③実質公債費比率について

令和元年度の実質公債費比率は5.9%となっており、早期健全化基準の25.0%を下回っているため、健全な範囲にあると認められる。

④将来負担比率について

令和元年度の将来負担比率は算定されなく、早期健全化基準の350.0%を下回っているため、健全な範囲にあると認められる。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。ということでございます。

21ページからは、その関連の表でございますので、お目通しいただきたいと思っております。

25ページの経営健全化審査意見書でございます。

審査の概要 この経営健全化審査は、町長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施をした。

審査の結果 総合的意見 審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類はいずれも適正に作成されたものと認められる。

記 表記載のとおりであります。

個別意見 資金不足比率について 簡易水道事業・生活排水の各特別会計において、資金不足比率を算定することとなっているが、令和元年度はそれぞれ資金不足がないことから比率は算定されず、結果として健全な範囲にあると認められる。

是正改善を要する事項 特に指摘すべき事項はない。

以下、26ページについては、その関連の資料でございます。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 以上で、監査委員の意見書説明を終わります。

-----○-----

日程第19 議案第73号 令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）

○議長（吉田美好君） 日程第19、議案第73号、令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）から、日程第25、議案第79号、令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）までの補正予算7案件について、一括して議題としたいと思います。お諮りします。

日程第19、議案第73号から、日程第25、議案第79号までの7案件について一括議題とし、本日は内容説明のみを行い、質疑・討論・採決は最終日に行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第73号から議案第79号までを一括議題とし、本日は内容説明のみを行い、質疑・討論・採決は最終日に行うことに決定をしました。

それでは、議案第73号から議案第79号までを一括議題とします。

まず、議案第73号、令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）の内容説明を求めます。宮崎総務課長。

○総務課長（宮崎幸仁君） 議案第73号について、説明申し上げます。

別冊の令和2年度美里町一般会計補正予算書（第10号）の1ページをお開き願います。

議案第73号、令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）

令和2年度美里町の一般会計の補正予算（第10号）は、次に定めるところによ

る。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億322万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ87億9,710万3,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

債務負担行為の補正、第2条、債務負担行為の追加は、「第2表 債務負担行為補正」による。

地方債の補正、第3条、地方債の追加、変更及び廃止は、「第3表 地方債補正」による。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

5ページをお開き願います。

第2表、債務負担行為補正でございます。

美里バス運行費補助金、期間を令和3年度から令和3年度まで。限度額922万8,000円を追加いたしております。

6ページをご覧ください。

第3表、地方債補正でございます。

最初に、地方債の追加でございます。過疎対策事業費（防災関連事業）、限度額100万円、旧合併特例事業（社会教育事業）、限度額3,040万円、旧合併特例事業（学校教育事業）限度額1,360万、公共土木施設等単独災害復旧事業、限度額1,700万、現年発生公共土木施設等補助災害復旧事業、限度額3,300万、現年発生農地農林施設等補助災害復旧事業、限度額2,400万、計6件で総額限度額を1億1,900万円を追加いたしております。起債の方法、利率、償還の方法は、表内記述のとおりでございます。

次の7ページをお開き願います。地方債の変更でございます。

臨時財政対策債の限度額1億2,160万円を1億2,818万9,000円に、過疎対策事業（美里バス運行事業）限度額60万を190万円に、旧合併特例事業（交通安全施設整備事業）限度額190万円を90万円に、過疎対策事業（福祉事業）限度額8,020万円を8,770万円に、旧合併特例事業（農業施設整備事業）限度額7,310万円を9,730万円に、過疎対策事業（商工振興事業）限度額900万円を970万円に、過疎対策事業（公共土木施設整備事業）限度額2億470万円を2億2,040万円に、過疎対策事業（学校教育事業）限度額4,440万円を2,530万円にそれぞれ変更いたしております。

次の8ページをご覧ください。地方債の廃止でございます。

まず、過疎対策事業（農業施設整備事業）限度額2,010万円、過疎対策事業

(観光振興事業) 限度額 320 万円、過疎対策事業 (社会教育事業) 限度額 3,150 万円を、備考欄に記述の理由により廃止いたしております。

11 ページをお開き願います。

歳入歳出補正予算事項別明細書の 2、歳入でございます。

1 つ目の枠、地方特例交付金におきましては、減収補てん特例交付金 (住宅借入金等分・自動車税分・軽自動車税分) 合わせて 384 万 8,000 円を計上しております。

その下の枠、二つ目の枠です。

款の 14 国庫支出金、項の 1 国庫負担金におきましては、公共土木施設災害復旧費負担金 (R2 豪雨災害分) 6,162 万 2,000 円を増額いたしております。これは道路 4 件、河川 7 件分に係るものでございます。

三つ目の枠、項の 2 国庫補助金、目の 1 総務費国庫補助金におきましては、16 事業を対象とし、地方創生臨時交付金 8,799 万 5,000 を計上し、その下、社会保障・税番号制度システム整備費補助金 (住基・戸籍附票分) で 731 万 5,000 円、戸籍情報分で 198 万円をそれぞれ計上いたしております。

その下、目の 2 民生費国庫補助金におきましては、地域子育て支援拠点事業補助金、ほか計九つの補助金合わせて 346 万 6,000 円を計上いたしております。この内、新型コロナ対策分の補助率は 10 分の 10、それ以外は 3 分の 1 の補助率となっております。

その下、目の 4 土木費国庫補助金におきましては、橋りょう関係への重点配分組替えにより、社会資本整備総合交付金を 6,364 万 5,000 円減額し、その次のページの一番上の説明、道路メンテナンス事業費補助金 8,583 万 7,000 円を計上いたしております。

12 ページの二つ目の枠、款の 15 県支出金、項の 1 県負担金におきましては、災害救助費負担金 (震災分) 800 万円を計上しておりますが、これは砥用庁舎仮設住宅跡地の舗装工事に充てるものでございます。

三つ目の枠、目の 2 民生費県補助金におきましては、介護施設における新型対策のため、介護基盤緊急整備特別対策事業補助金 728 万 6,000 円を計上いたしております。

その下、目の 4 農林水産業費県補助金におきましては、7 月豪雨に対する補助金で、林道施設災害復旧事業補助金 3,000 万円を計上いたしております。

13 ページをお開き願います。

一番下の枠の款の 18 繰入金、項の 1 基金繰入金におきましては、前年度繰越金による一般財源確保ができたことにより、財政調整基金繰入金を 7,008 万 9,0

00円、水道事業基金繰入金を1,281万5,000円それぞれ減額し、平成28年熊本地震復興基金繰入金につきましては、2,392万7,000円増額しております。これは町道4路線の復旧に係るものでございます。

その次、14ページをご覧ください。

一つ目の枠、款の18繰入金、項の2特別会計繰入金におきましては、前年度における繰出金の精算として、4会計分合わせて1,350万4,000円計上いたしております。

二つ目の枠、繰越金につきましては、前年度繰越金が1億9,022万3,000円となるため、当初予算2,000万円を差し引き、1億7,022万3,000円を計上いたしております。

三つ目の枠、款の20諸収入、項の5雑入におきましては、宇城広域連合負担金前年度決算剰余金返還金として2,471万円を計上いたしております。

15ページをお開き願います。

町債におきましては、過疎対策事業債の配分枠減少に伴いまして、旧合併特例事業債への振り替え及び災害復旧費の増額等により、総額で1億8万9,000円を計上いたしております。

その下の16ページをご覧ください。16ページからが歳入歳出事項別明細書、3の歳出でございます。

二つ目の枠、款の2総務費、項の1総務管理費、目の1一般管理費におきまして、行政IT化の一例となりますオンライン対応契約管理システム整備委託料（新型コロナ対策分）として640万円を計上いたしております。

17ページをお開き願います。

目の6企画費におきましては、地域のICT化を進めるための取り組みとしまして、eスポーツでいい里づくり事業委託料（新型コロナ対策分）150万円を計上しております。

またその下、備品購入費において、東部地区活性化施設の環境改善を図るため、備品購入費（新型コロナ対策分）400万円を計上しております。

目の11財政調整基金費におきましては、現年度決算剰余金の2分の1を下回らない額ということで、財政調整基金積立金を1億円計上いたしております。

18ページをご覧ください。

一つ目の枠、項の3戸籍住民基本台帳費におきましては、先ほど歳入でも出てまいりました社会保障・税番号制度システム整備委託料（住基分、戸籍附票分、戸籍情報分）合わせまして、929万5,000円を計上しております。

三つ目の枠で、款の3民生費、項の1社会福祉費、目の2高齢者福祉費におきま

しては、美里町介護基盤緊急整備特別対策事業補助金728万6,000円を計上いたしております。これは介護施設の簡易陰圧装置の設置、介護職員の宿舎施設整備に対するものでございます。

19ページをお開き願います。

一つ目の枠、項の3児童福祉費に置かまはしては、委託料で35万8,000円、負担金、補助金及び交付金で404万4,000円、九つの事業分で予算を計上しておりますが、先ほど歳入の際申し上げました新型コロナ対策分としては10分の10、それ以外は国・県合わせまして3分の2の補助を受けて行うものでございます。

二つ目の枠、項の4災害救助費におきまはしては、砥用庁舎仮設住宅跡地舗装工事(震災分)としまして、1000万円を計上いたしております。

20ページをご覧ください。

一つ目の枠、款の4衛生費、項の1保健衛生費、目の7水道施設整備費におきまはしては将来の拡張費用に備え、水道事業基金積立金4,000万円を計上いたしております。

三つ目の枠、款5農林水産業費、項の1農業費、目の4農業振興費におきまはしては、鳥獣被害防止総合対策(推進)事業補助金と次のページの農業再生協議会補助金(高収益作物次期作支援推進費)までの4事業合わせまして613万9,000円を計上いたしております。

次の21ページをお開き願います。

目の6農地費におきまはしては、中地区の向江橋取り付け関係で、農道等整備工事費400万円を計上いたしております。

22ページをご覧ください。

款の6商工費、項の1商工振興費では、目の1商工振興費におきまはして、中止となりましたふるさと祭り及びやまびこ祭りの補助金分、合わせて500万円を減額いたしております。

目の2の観光振興費におきまはしては、委託料で観光PR動画作成等業務委託料(新型コロナ対策分)300万円を計上いたしております。

23ページをお開き願います。

二つ目の枠、款の7土木費、項の2道路橋梁費、目の2道路維持費におきまはしては、2路線分の町道維持工事測量設計委託料850万円、路面正常調査舗装維持管理計画策定、町道八幡原線に係る事業としまして、社会資本整備総合交付金事業2,700万円を計上いたしております。

その下の工事請負費におきまはしては、12路線分の町道維持工事費4,300万

円、社会資本整備総合交付金事業は事業変更により1,100万円を減額し、町道維持工事費（震災分）、これは4路線の復旧に充てるもので2,300万円を計上いたしております。

目の3道路新設改良費におきましては、町道霍線の町道改良工事1,000万円を計上いたしております。

24ページをご覧いただきたいと思ます。

説明欄の一番上、立木等補償費（社交金）分、同じく立木等補償費の（道整備）分、電柱等移転補償費で合わせまして1,450万円計上いたしております。

目の4橋梁維持費におきましては、道路メンテナンス事業におきまして、委託料1,450万円を減額し、工事費を1,750万円増額いたしております。

二つ目の枠、項の3河川費におきましては、河川維持工事費として600万円を計上、三つ目の枠、項の4住宅費におきましては、町営住宅修繕料520万円を計上いたしております。

25ページをお開き願います。

一つ目の枠、款の8消防費、項の1消防費、目の4災害対策費におきましては、備蓄・避難所用の消耗品費（新型コロナ対策分）を入れまして、合計の490万1,000円を計上しております。これは段ボールベッドや避難所用の運営キット等の購入に充てるものでございます。

二つ目の枠、款の9教育費、項の1教育総務費、目の2事務局費におきましては、備品購入費において、学校ICT機器購入費を1,000万円減額しておりますが、これは入札の実績によるものでございます。

27ページをお開き願います。

27ページの二つ目の枠です。項の4社会教育費、目の1社会教育総務費におきましては、文化センター空調設備修繕工事費500万円を計上し、目の2公民館費におきましては、桑木野公民館分の自治公民館再建支援事業補助金（震災分）190万9,000円を計上いたしております。

28ページをご覧願います。

二つ目の枠、款の10災害復旧費、項の1農業水産業施設災害復旧費におきましては、7月豪雨災害に係る洞岳線ほか8路線分の林道施設等災害復旧工事費6,000万円を計上いたしております。

三つ目の枠、項の2公共土木施設災害復旧費、目の1町単独災害復旧費におきましては、道路・河川修繕料として500万円、それと災害復旧工事（R2豪雨災害分）として9,238万8,000円を計上しております。これは道路4件、河川7件に係るものでございます。

四つ目の枠、款の11公債費におきましては、償還期間の変更によりまして、町債償還元金を1,056万3,000円減額いたしております。

以上で、議案第73号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第73号の内容説明を終わります。

ここで、しばらく休憩をいたします。再開を2時15分といたします。

-----○-----

休憩 午後1時58分

再開 午後2時15分

-----○-----

○議長（吉田美好君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

ここで、午前中に行いました町長提出議案の内容説明について、上田町長から説明内容の訂正の申し出がっておりますので、許可をします。

町長に説明を求めます。上田町長。

○町長（上田泰弘君） 先ほど、総務課長のほうから令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）についての説明がございました。その中での歳入の説明におきまして、財政調整基金繰入金7,008万9,000円を減額という説明がございました。確認しましたところ、私、午前中の提案理由の説明で、財政調整基金繰入金7,008万9,000円を減と言っておりませんでした。ですので、そのまま入という形になっておりましたが、ここは減でございます。ですので、午前中の提案理由の説明で財政調整基金繰入金7,008万9,000円は減ということで、訂正をさせていただきます。申し訳ございませんでした。

○議長（吉田美好君） 以上で、町長の訂正を終わります。

-----○-----

○議長（吉田美好君） 次に、議案第74号、令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の内容説明を求めます。松永健康保険課長。

○健康保険課長（松永栄作君） 議案第74号について、ご説明申し上げます。

別冊の議案第74号、令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算書（第2号）の1ページをお開き願います。

議案第74号、令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

令和2年度美里町の国民健康保険特別会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,992万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億1,198万7,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分

ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

債務負担行為、第2条、地方自治法（昭和22年法律第67号）第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は「第2表 債務負担行為」による。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

まず、債務負担行為についてご説明いたします。

3ページをお開き願います。「第2表 債務負担行為」

事項、期間、限度額の順で読み上げをいたします。

国保事務処理標準システム導入業務委託料、令和3年度から令和3年度まで、627万円。国保事務処理標準システム共同クラウド導入負担金、令和3年度から令和3年度まで、1,694万8,000円。国保事務処理標準システム導入業務委託料の事項につきましては、国が開発した事務処理標準システムを導入するために、2か年度にわたり導入業務の委託契約をする必要がありますので、債務負担行為として定めたまいものでございます。

国保事務処理標準システム共同クラウド導入負担金につきましては、事務処理標準システムを県下自治体で共同利用クラウドとして導入し、参加自治体が費用を負担する事業でございますが、2か年度にわたり負担する必要がありますので、債務負担行為として定めたまいものでございます。

次に、予算の詳細につきましては、歳入歳出補正予算事項別明細書により、主なものをご説明いたします。

5ページをお開き願います。

歳入歳出補正予算事項別明細書の2、歳入でございます。

第3款、第2項の国庫補助金につきましては、第2目災害臨時特例補助金におきまして26万4,000円を新設しております。新型コロナウイルス感染症に係る国民健康保険税の減免を行った場合に、減免額に対し基本額の6割が国庫により補助されるものを計上したものでございます。

2つ目の枠の、第4款、第1項県負担金につきましては、第1目保険給付費等交付金におきまして、2,840万1,000円を追加しております。歳出の国保事務処理標準システム導入業務委託料、国保事務処理標準システム共同利用クラウド導入負担金及び国民健康保険事業費の事業納付金の市町村標準システム分の特定財源として計上したものでございます。

3つ目の枠の、第7款、第1項繰越金につきましては、第1目繰越金におきまして、4,126万3,000円を追加しております。前年度決算剰余金を繰越金とし

て計上したものでございます。

6 ページをご覧ください。

3、歳出でございます。

第1款、第1項総務管理費につきましては、先ほど債務負担行為でご説明いたしました国保事務処理標準システム導入と、同システム共同利用クラウド化の令和2年度分の関係経費2,781万2,000円を追加しております。

2番目の枠の、第3款、第4項国民健康保険事業納付金の市町村事務処理システム分につきましては、59万1,000円を追加しております。国保事務処理標準システム共同利用クラウドの導入を実施する国保連合会の人件費等の事務費を参加自治体で負担するものでございます。

以上で、議案第74号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第74号の内容説明を終わります。

次に、議案第75号、令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）の内容説明を求めます。宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） 議案第75号について、説明申し上げます。

別冊の令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算書（第1号）の1ページをご覧ください。

議案第75号、令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）

令和2年度美里町の土地取得特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10万5,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

4 ページをご覧ください。

歳入歳出補正予算事項別明細書の2、歳入でございます。

繰越金におきましては、前年度繰越金として9万9,000円を計上いたしております。

その下、歳出でございますが、予備費に9万9,000円を計上いたしております。

以上で、議案第75号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第75号の内容説明を終わります。

次に、議案第76号、令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算（第1号）の

内容説明を求めます。中村福祉課長。

○福祉課長（中村武志君） 議案第76号につきまして、ご説明申し上げます。

別冊、令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算（第1号）の1ページをお開きください。

議案第76号、令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算（第1号）

令和2年度美里町の介護保険特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,266万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億3,788万6,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

今回の補正の主な理由といたしまして、令和元年度の繰越額の確定及び保険給付費見込額の増に伴う補正でございます。

5ページをお開きください。歳入につきましてご説明いたします。

最初の枠をお願いいたします。款3国庫支出金です。目1介護給付費負担金14万円。

次の枠をお願いいたします。款4支払基金交付金です。目1介護給付費交付金18万9,000円。

次の枠をお願いいたします。款5県支出金です。目1介護給付費負担金8万7,000円。

次の枠をお願いいたします。款7繰入金です。目1介護給付費繰入金8万7,000円。

以上につきましては、介護給付費の見込み額の増額に伴うものです。

同じく、繰入金です。

目5、その他一般会計繰入金、事務費繰入金につきまして、20万3,000円を減額しております。これは、宇城広域連合介護認定調査等の確定によるものです。

最後の枠をお願いいたします。

款8繰越金です。前年度繰越金として、3,236万2,000円を計上しております。

6ページをお願いいたします。歳出につきましてご説明いたします。

款1総務費、目1一般管理費です。システム利用の契約期間の変更に伴い、6,000円を計上しております。

次の枠をお願いいたします。

同じく総務費です。目1介護認定調査費につきまして、宇城広域連合負担金20万9,000円を減額しております。これは歳入でご説明いたしました宇城広域連合の負担金の確定によるものです。

次の枠をお願いいたします。

款2保険給付費、目2高額医療合算介護サービス等費につきまして、介護給付費見込額増により70万円を計上しております。

次の枠をお願いいたします。

款5諸支出金、目2償還金です。令和元年度支払基金分介護給付費交付金の確定による返還金729万1,000円を計上しております。

最後の枠をお願いいたします。

同じく、諸支出金です。目1他会計操出金です。一般会計操出金634万1,000円を計上しております。これは令和元年度の精算に伴うものです。

7ページをお願いいたします。

款6予備費です。歳入歳出の調整のため、1,853万3,000円を計上しております。

以上、議案第76号につきましての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第76号の内容説明を終わります。

次に、議案第77号、令和2年度美里町生活排水特別会計補正予算（第1号）の内容説明を求めます。北島水道衛生課長。

○水道衛生課長（北島浩徳君） 議案第77号について、ご説明いたします。

別冊、補正予算書1ページをお開き願います。

議案第77号、令和2年度美里町生活排水特別会計補正予算（第1号）

令和2年度美里町の生活排水特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ517万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9,163万5,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

4ページをお開き願います。

歳入についてご説明いたします。繰越金につきましては、事業決算により繰越金の確定により、517万6,000円の増額としております

次に、歳出についてご説明いたします。操出金、一般会計操出金につきましては、

繰越金確定により、517万6,000円を計上いたしております。

以上で、議案第77号の説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第77号の内容説明を終わります。

次に、議案第78号、令和2年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の内容説明を求めます。松永健康保険課長。

○健康保険課長（松永栄作君） 議案第78号について、ご説明申し上げます。

別冊の議案第78号、令和2年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算書（第1号）の1ページをお開き願います。

議案第78号、令和2年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

令和2年度美里町の後期高齢者医療特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ38万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億6,600万1,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

予算の詳細につきましては、歳入歳出補正予算事項別明細書によりご説明いたします。

4ページをお開き願います。

歳入歳出補正予算事項別明細書の2、歳入でございます。

第4款、第1項繰越金につきましては、第1目繰越金におきまして38万円を追加しております。前年度決算剰余金を繰越金として計上したものでございます。

次に、3、歳出でございます。

第4款予備費につきましては、歳入歳出予算の調整により38万円を追加しております。

以上で、議案第78号についての説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第78号の内容説明を終わります。

次に、議案第79号、令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）の内容説明を求めます。北島水道衛生課長。

○水道衛生課長（北島浩徳君） 議案第79号について、ご説明いたします。

別冊、補正予算書、1ページをお開き願います。

議案第79号、令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

令和2年度美里町の簡易水道事業特別会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ187万4,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億3,388万2,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和2年9月8日提出 美里町長 上田泰弘

4ページをお開き願います。

まず、歳入についてご説明いたします。

繰入金、一般会計繰入金につきましては、歳出予算の財源としまして11万3,000円増額しております。繰越金、前年度繰越金につきましては、事業決算によります繰越金の確定により、176万1,000円を増額しております。

次に、歳出についてご説明いたします。

総務費、一般管理費の需用費の印刷製本費につきましては、水道検針ロール紙の印刷料として1万円を増額しております。使用料及び賃借料の機械借上料につきましては、山出浄水場のろ過砂の補給に伴い、クレーンの借上料としまして8万3,000円、ASCサービス使用料につきましては鶴木野地区の拡張に伴います使用料の増額分として2万円計上しております。

繰出金につきましては、繰越額確定により176万1,000円を計上いたしております。

以上で、議案第79号の説明を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、議案第79号の説明を終わります。

以上をもちまして、本日の日程は終了をしました。

お諮りします。本日は、これで散会したいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがいまして、本日はこれで散会することに決定をしました。

明日9日水曜日は、午前10時より会議を開きます。

それでは、本日はこれで散会します。

-----○-----

散会 午後2時40分

第 2 号

9 月 9 日 (水)

令和2年第3回美里町議会定例会会議録（第2号）

令和2年9月9日（水）

午前10時00分開会

1. 議事日程

日程第1 一般質問

順番（1） 10番 福田 秀 憲 議員

順番（2） 4番 坂田 竜 義 議員

2. 出席議員（12名）

1番	高田 美千子 君	2番	光井 博幸 君
3番	今田 政行 君	4番	坂田 竜義 君
5番	上田 孝 君	6番	松永 正憲 君
7番	中川 政司 君	8番	吉田 起登 君
9番	上村 則幸 君	10番	福田 秀憲 君
11番	濱田 憲治 君	12番	吉田 美好 君

3. 欠席議員（なし）

4. 説明のため出席した者

町 長	上田 泰弘 君	副 町 長	吉住 慎二 君
教 育 長	吉永 公力 君	総 務 課 長	宮 寄 幸 仁 君
企画情報課長	渡 邊 徳 晶 君	税 務 課 長	田 上 和 則 君
住 民 課 長	山 田 輝 臣 君	福 祉 課 長	中 村 武 志 君
健康保険課長	松 永 栄 作 君	経 済 課 長	富 永 英 司 君
林務観光課長	高 田 浩 幸 君	建 設 課 長	長 井 寿 浩 君
水道衛生課長	北 島 浩 徳 君	会 計 課 長	池 永 英 治 君
学校教育課長	坂 村 浩 君	社会教育課長	中 川 幸 生 君

5. 事務局職員出席者

事 務 局 長 倉 田 辰 実 君 書 記 津 田 里 美 子 君

開議 午前10時00分

-----○-----

○議長（吉田美好君） おはようございます。本日の会議を開きます。

一般質問の広報掲載のため、広報担当者、西野主事の議場内での写真撮影を許可いたします。

-----○-----

日程第1 一般質問

○議長（吉田美好君） 日程第1、一般質問を行います。

通告がっておりますので、順次発言を許します。なお、発言時間は申し合わせ事項により、答弁を含め60分以内となっておりますので申し添えます。

10番、福田秀憲君の一般質問を行います。福田秀憲君。

○10番（福田秀憲君） 通告に従いまして、3点提出しておりましたけれども、上水道の整備、まちづくりについて、IT化についての3点について質問をいたします。

まず、上水道の整備についてということで、質問をいたします。

上田町長は、本年の3月の施政方針の中に、上水道の整備について述べておられます。中央北地区等へ給水について、水道施設整備計画(案)の作成をする。既存の施設についても水道施設の個別施設計画を策定して、老朽化した施設から計画的に改修を行い、施設の長寿命化を図っていくというふうに述べておられます。

また、組合及び地区が行う水道事業についても、老朽施設の改修等への補助金を交付すると、水質に問題のある飲料水を浄化するための家庭用浄水器設置費補助を行い、安心・安全な飲料水の確保を推進し、生活に欠くことのできないライフラインの保全に努める、というふうに表明をされております。

この、安心・安全な飲料水は、人間が生きていく上では最も不可欠なものであります。基準に満たない飲み水は、人体に影響を及ぼし病気の原因にもなるわけであり、町が土地を開発して譲渡した中央北地区の団地でも、基準を超える成分が出て、家庭用といいますか、浄水器、大型の浄水器ですけれども、浄水器を設置して、基準内の水になるようにされているところであります。多くの家庭で、飲み水に関しては浄水器を設置するか、市販の飲料水を購入して利用されているところがあります。今、定住をされている人、また移住してこようという人についても、安心を考えたときに、上水道の整備というのは欠かせないものであると思います。

定住されている人についても、いつ水位が下がってその水が使えなくなるかわからないところがあります。新たに来られる人は、もう必ずボーリングして水を揚げると、地下水を揚げるというふうにしかできないわけであり、

この中央北地区に供給、給水するための上水道の整備計画はどうなっているのか、

お伺いをいたします。

○議長（吉田美好君） 北島水道衛生課長。

○水道衛生課長（北島浩徳君） ご説明いたします。

現在、中央北地区に給水するための計画はできておりません。水道事業におきましては、給水人口を賄う水量を確保した後に事業計画を立てるため、現在は砥用地区の簡易水道からの延長を含めた水源確保のための調査を行っております。また、次期水道事業における認可後は、給水人口が5,000人を超え、上水事業となり、区域拡張に伴う国庫補助がなくなるため、次期水道事業は中央北地区、全地区を給水区域として計画をしたいと考えております。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 今、説明をいただきましたけれども、おおまかなその計画と
いいですか、こういうふうにやろうというやつはわかりますけれども、綿密な計画
というのはなかなかできていないような気がいたします。やはり、きちんとした計
画を地域の住民の方に示して、安心して、水が欲しいという人に希望が持てるよ
うな状態にしていかなければならないと思うわけであります。

施政方針の中にも、中央北地区への給水について、整備計画をつくるというよ
うに発表されていますが、これもやっぱり早急に、私はつくる必要があるのではない
かというふうに思っております。

その整備計画というやつは、いつまでとか、そういうやつがまだできているのか
いないのか、お伺いをいたします。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 先ほど担当課長のほうからですね、水道事業におきましては、
給水人口を賄う水量確保をした後に事業計画を立てるという説明があったところ
であります。ですので、今、その水源の調査、これは砥用地区からの延長も含めた水
源の調査をしております。その調査の中で、しっかりとこの中央北地区にですね、
賄うだけの水量があるということが確認された時点で、速やかに事業計画を立てて
いこうというふうに思っています。今はとにかく、水源をどう確保するかというこ
とに力を注いでいるところであります。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 本年度の予算でも、簡易水道個別施設計画ということで、約
1,000万ほどの予算が組んであります。これは長寿命化などの計画をされる
ということでもあります。また、中央北地区の拡張基本検討というのも予算が計上され
ておりますが、これは調査をするというような形だというふうにはお聞きして
おりますけれども、この予算についてはまだ、実際に審議をしておりませんので、その

中でまたお聞きしたいと思いますが。

次にですね、北地区の希望者を募るために、過去2回、中央北地区の住民の人対象に、水道事業の意識調査というのをされております。その調査の結果では、加入希望者が30%ぐらいしかおられなかったというふうにお聞きをしておりますけれども、その調査をされたときに、既に住んでおられる方は、もう既にボーリングをされているということで、希望されない。希望された人については、地下水を利用しているんだけど水質が悪いので、やはり町営水道を引いてもらわなきゃいけないという思いで、この30%という結果になったのではないかなと私は思っております。そのアンケートに現れなかった、例えば移住して来ようというような人がおられた場合には、必ずですね、やっぱり水道を希望されると思うんですよね。で、そのあたりを加味したときには、その30%というのが、まあまだ数字は上がるし、例えば40%・50%になったときも、50%以上でないと町営では水道を引きませんよというようになりますよ、この水っていうのがもう絶望っていうか、なかなかですね、移住してくる人も少なくなると思うんですよね。そこで、もう一度ですね、30%ということですが、そのアンケートで再度意思の確認をされるのか、そこをお聞きしたいと思います。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 近年、中央北地区におきまして、水質等の問題や施設の老朽化等に伴い、維持管理が大変になり、町営水道を希望される方が多くなっております。

また、美里町に定住を希望される方にとっても、現在は、これは中央北地区に關してであります。定住を希望される方にとっては、現在水道施設がないために個別に井戸を掘る必要があり、定住の促進に支障を来している状況であります。

このような状況の中で、上水道の整備は定住の地として選択される可能性、それから企業誘致の可能性、そして地震等の災害や濁水等により水質の悪化や不足が生じる可能性、以上3つの可能性を見据えた投資であると捉えておりますので、アンケート調査の実施について現段階では考えておりません。また、既存の住宅や店舗等にもですね、最大限、上水道へご加入いただけるよう、対象になる皆様にはご理解を求めていきたいと考えております。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 先ほどですね、課長からも説明がありました。今、町長からも少しお話がありましたけれども、水道を引くに当たっては、何とんでもやっぱり水源が必要だと思います。水源を確保するには安全な水であって、水量が十分ないと上水道として使えないんじゃないかなという思いがするわけですが、その水源を確保するために、私も予算の中で大分拝見したところではありますが、

も、相当な箇所についてボーリングとか調査をやっておられると思いますけれども、その過去ですね、水源探索やボーリングした場所またその結果についてお伺いをしたいと思います。

○議長（吉田美好君） 北島水道衛生課長。

○水道衛生課長（北島浩徳君） ご説明いたします。

水源地の調査につきましては、平成19年度に中蓮寺公園付近、岩下地区、萱野地区について電気探査及び周囲井戸の調査を実施しております。結果につきましては、まとまった水量を確保できると推定される地区は、岩下地区と中蓮寺公園付近と結果が出ております。岩下地区につきましては、周囲井戸への影響が心配され、中蓮寺公園付近では水質の問題が出ております。平成22年度におきましては、益城町付近で試掘を行いました。孔内水位が認められず、水源として不適と判断し、益城橋より下流にあります農業用井戸の水質の検査を行った結果、硝酸態窒素が基準値を上回る値となり、調査を終了しております。

場所を変更し、既存水質検査結果を調査し、硝酸態窒素の値が低い大沢水陣の平地区を選定し、電気探査を行い、試掘を行いました。結果につきましては、水質には問題ありませんが、本試験井戸での取水可能水量は給水人口192人程度となっております。西山地区に給水する水量程度となっております。

平成23年度は、岩下地区で試掘を計画し、河川保全区域の関係で国土交通省の許可をお願いしておりますが、すぐに許可が取れずまた地元からの周囲井戸への影響が心配される意見もあり、試掘を中止し、白石野地区にある西分館の水源の揚水試験、水質試験、周囲井戸調査を実施いたしました。給水可能人口480人程度の水量となっております。水質については問題がなく、周囲井戸の水位も影響ありませんでした。

以上の結果をもとに、地元説明会を行いました。やはり周囲井戸への影響が心配される意見が多くありました。

令和元年度は、小筵・荒崎地区で電気探査を行いました。結果につきましては、地下水の存在が推定される箇所があり、水量・水質については試掘が必要なため、現在試掘の検討を行っているところでございます。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） ただいま説明がありまして、8か所ぐらいは調査をされているということであれば、平成19年から令和元年度、ということはおもう十数年かかっているわけであります。

その中で、取水可能というところが2か所あるということでありまして、その住民の方の、地元への水位が下がったりなんかして影響があるということ諦

めているということでもあります。そして、岩下のほうは、どこですか、国交省だったですかね、から、試掘はだめだというようなことがあったということですが、水量を見込めるところは、今のところ、まだこれからも調査されるでしょうけれども、岩下と白石野ということでもあります。先ほど言われた中蓮寺公園あたりも水量はあるんだけど水質に問題があるということだということですが、岩下あたりが何で掘れないのか、私はですね、地元へ説明はされて、いろいろ地元の人から自分たちの今使っている水に不安があるということで、了解を得られなかったということだと思いますけれども、何とかですね、話をして、水源はいくつか確保しないと、なかなかまとまった水が取れないと思うんで、例えば白石野あたりも大きなタンクを据えて、少しでも分けていただくとか、あと岩下地区あたりは掘らしていただいて、その水量を確認するとかですね、そういう方法が取れないのかなと私は思うわけですが、そしてやっぱり住民の方がですね、水に関して、自分のところ掘られて、既設の水が使えない、水位が下がったり使えなくなったりするっちゃうのはやっぱり反対されるのは、私は当たり前だと思うんですよ。だけ、そこを使わせていただくには、代替案といいますか、そのあたりを持って行って、いろいろ相談をしないと、それはどこでもなかなかやっぱり水の確保はできないんじゃないかなと私は思うわけです。

住民説明会をされた時に、町長あたりも行って、その説明会あたりには出席されて、どぎゃんしてでんよかけん、こういう方法で、水位が下がったときはまたできるようにしますからというふうな形でお話をされたのか。そこをちょっとお伺いをしたいと。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 前回、このアンケートをとる前にですね、中央地区全て座談会を開いて、私もすべて出席をして話を聞いてまいりました。その中で、やはり水源地となる可能性があるところでやはり掘らせて欲しいという話をしたときにですね、じゃあもし自分のところの水が出なくなったらどうするんだと、つまりは、こちらから代替案をですね、示さなければならぬ。ただ、今の時点で、全くこの北地区にも水道が整備されてない中で、じゃあどういう代替案を出すのかというのが非常に難しい、当時は考えでありました。そういった意味では、今、小笹の荒崎地区の電気探索を行って、そこに水脈がどうもあるのではないかなというふうな結果が出ておりますので、今後、その荒崎地区の水量検査、それから水質調査をしてですね、併せて砥用地区からのその水道の延長も含めて、ある程度やはり、水道の整備が目に見えた時点ではないと、次の水源地、次の水源地ということは難しいというふうな考えております。そういった意味では、まずはこの荒崎地区の電気探索を行いた

いと、電気探査じゃなくて水量検査・水質検査を行わせていただきたいというふうに思います。

なお、この予算につきましては、まだ計上させていただいておりません。それは、この中央北地区への上水道の整備というものは、次の町長選挙における、私は公約にしたいというふうに考えております。そういった意味では、3選を果たすことができれば、速やかに試掘等の予算を計上させていただいて、そして実行に移していきたいというふうに考えているところでございます。

先ほどから、砥用地区の水道の延長という話をさせていただいておりますけれども、これは砥用地区の既存水道において、砥用水道においてですね、当初の計画、給水人口に比べ、現時点における給水人口が大分減少してきている状況であります。また、その水を揚げる、そういう水道の施設を新しく、例えば更新することで、供給できる水量がもっと増える、そういった可能性もあります。そういった全てのことをですね、加味しながら今後しっかりと進めていきたいと考えているところであります。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 町長もいろいろ、水を利用するときは、座談会なんかに出席をしてお願いをしていくということではありますが。地区の選出のですね、議員さんもおられますので、議員さんも同席を願ってですね、いろいろやられたほうが話がスムーズにいくんじゃないかなと思いますので、そのあたりもですね、考えられたほうがいいんじゃないかなと私は思います。

ただいまですね、小筵の荒崎地区のやつについて、町長から説明がありましたけれども、これは令和元年度に私たちが予算を承認して、電気探索を、水質、水があるのかどうかを電気探索をしていいよということであったんですが、もう今は2年度ですよ。なかなか、その説明もですよ、もっと今どうなってるんだというやつを逐次説明をして、議員に知らせるというような方法は、やっぱりいつもとったほうがいいんじゃないかなと私は思っております。これが元年度にですね、存在が確認されたということで、まあ今度町長選挙もあるんで、まだ予算を組んでないということですけども、私は本年度の、2年度の予算にですね、当初の予算に組んでやる気を見せるというのが必要じゃないかなという思いがしております。今からでも遅くないので、9月にはもう間に合いませんが、12月にでもですね、選挙のあとですが、組んでいただいて、その選挙はどうなるかわかりませんが、ぜひ町当局には予算を組んでいただいて、早急にですね、水源を見つけていただきたいなという思いがしております。なんせ、水源がですね、もう13年もかかってですよ、あすこはあった、こうはあったというやつでは私はだめだと思いうんですよ。

もっと早く対応して、水で困ってる人がいるんだという、これ一番身体にも影響するし、生活していく上で一番必要なやつですので、ここはですね、早く解決するというような形で取り組んでいただきたいなというふうに思っています。

北地区の水道の話は、ということで、ぜひですね、いつまでやるんだというような、給水をするんだというやつでずっと来て、水の確保が一番大事でしょうけれども、どこから給水したときにいくらかかるとか、そういう計画表をつくってですね、日程あたりもつくって、住民の方に示しをすれば、「わあ、やっぱり、こうやって水を一所懸命やる気で取り組んでおられるな」という思いが伝わってくるんじゃないかなと私は思います。ぜひですね、その計画を一緒にですね、早く作っていきましょう。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） とにかく水源を確保させていただいて、水源を確保したら、これ計画もできるというふうに思います。水源を確保した後に計画を立てまして、いつまでに給水できるというようなことも、まずは水源を確保すればできてくることだと思いますので、早急に水源確保に努めたいと考えてます。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） もうほうぼうがですね、ボーリング調査をして、ある程度目安がついてるでしょうから、早目にですね、その水源の確保をしていただいて、計画を実行に移していくというような形にさせていただければいいかなと思います。

続いてですね、北地区ではないんですけども、水道水で濁ってる地区も結構あります。これは湧水を使っているため、雨の降ったときなど飲料水として使用できないということで、そこを利用するには、水が澄んでから飲料水に使うとか、もう飲料水は買ってきて飲料水にするんだというようなところもあるわけです。そこでですね、それを解決するには、やはりまた、地下水を掘る、いろんな事業が必要になってくると思うわけですけども、今ですね、何人以下でしたっけね、あれは。50人以下でしたっけ、簡易水道の、専用水道というんですか。そういうところはですね、今、水道を、水を確保しよう、いろいろ事業をやろうというときには、事業費の40%が補助されるように確かなってると思います。そして、上限も確か決めてありますので、なかなかですね、地元で、少ないところで水を求めようとするときには、この事業費がですね、ネックになっているところが結構ありますので、今40%の補助率のところをもう少し上げて、水のことですので、これは大事だからということで上げるとか、そういう考えはありませんか。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 水道、私も家を建てて、まだ一度も自分の家の水を生で飲んだ

ことはありません。やはり、水道から出る水が安心して飲めるっていうことは、これは非常に大事なことでありますし、急がねばならない、整備しなければいけないインフラだというふうに考えます。そういった意味では、水質が悪いところ等に関しましては、速やかにそれを解消できるというようなことは、これから更に突っ込んでですね、検討していく必要があるのではないかとこのように考えます。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 給水人口が50人以下のところは、個人がとか、5戸以上とか、やっぱり個人でされているところとかは、なかなか水をですね、工事をしようというときには本当にこのお金っていうのがですね、ネックになっているところが結構あると思います。今ですね、美里町の水道事業整備事業補助金の交付要項というのが、ちょっと調べてみましたところ、私が先ほど言いましたように、組合については事業費の総額の40%、限度額が400万円。地区で行う事業、それ以下の分ですけれども、事業費の40%で限度額が200万円ということです。

ある地区ではですね、表流水を使って、それをタンクに貯めて、そしてあんまりにも泥が入ったり水が入ったりなんかして汚れるので、もう一つタンクを据えて、二つ目のタンクから給水してるというようなところもあるわけであります。そうすると、結構ですね、タンク作ると事業費がかかりますので、そのあたりがですね、今から作ろうとするときにはネックになってくるんじゃないかなという思いがしておりますので、この事業費の補助金の見直しというのは、私は大事なインフラですので、ぜひですね、事業費の40%じゃなくて、もう少し上げられないかなという思いがしておりますので、ここは検討をしていただければと思います。

続きましてですね、中央中学校は井戸水を使用しております、渇水等の理由で断水などにより、給食に影響がある、また夏場にはプールを利用するので水が不足するときがある。その対応というのは今どうなっているのか、また今後の対策というのはどうするのか、お伺いをしたいと思います。

○議長（吉田美好君） 吉永教育長。

○教育長（吉永公力君） 今、議員がおっしゃった中央中の水ですけども、おっしゃるとおりに井戸水を利用しております。現在は安定した供給をされておまして、給食等にも使っておりますけども、特に問題はございません。しかし、過去には幾度か課題がありました。以前、かなり古い話けども、平成10年から12年ぐらいにかけて、白濁であるとか鉄管の錆であるとか、そういう問題がありましたので給食へも影響がありました。そのときは、水質検査を実施して、給食の献立を若干変更しております。そういうことがありましたもんですから、総合体育館が平成12年から13年にかけてできましたけども、グラウンドの横に2層式の貯水槽を作りま

して、揚水ポンプで屋上にあった高架水槽に送水して、そこから水圧で教室とか調理場に送るというふうにしておりました。そのあとも夏場はですね、先ほどおっしゃったようにプールとの併用で、水を急にフルに使ったりすると給食などにも影響がありましたけども、プールの水を少しずつ出していくというようなことで乗り切っております。

そういったことで、ずっと経緯をしておりましたけども、熊本地震があったときですね、かなり影響を受けました。やはり井戸が地震の影響で揺すられたみたいなことが多分あったんだと思いますけども、地震のあとに6月・7月・12月と白濁が見られたりですね、配電盤が故障したりというようなこともありましたけども、そこはメニューを変更したり、給水車で、水をですね、別の場所から調理場に運んだりして乗り切っております。また、水筒あたりも持参しているというふうに思います。

先ほど申しました高架水槽が屋上にありましたけども、その高架水槽が水漏れであるとか、ちょっと重すぎて校舎への影響があったもんですから撤去をしております。2層式の貯水槽から直接ポンプで校舎のほうに送るというふうに切り替えております。そのあと、白濁等の汚れがあったときもありましたけども、特にですね、本当に心配だ、課題だと、給食ストップというようなことはございませんでした。ただ、井戸水ですので、濁水であるとか大雨が降ったあとはですね、心配は続いているということでございます。

対応としましては、学校と常に水のことで連携を取っております、何か少し心配であるときには、こちらから出かけて、学校のほうと一緒にやって対応をしております。

また、水質検査をですね、毎月実施しております、何か兆候があれば、すぐに業者と相談しながら対応をしているところです。

今は、井戸がですね、2つありまして、プールと受水槽に揚げる井戸をですね、分けております。ですから、特に1つの井戸を使って水量が増えるという、使う水が増えるということの心配はないということでもあります。

将来のことですけども、先ほど町長が答弁をされましたけども、もし中央地区にですね、水道水が、町営水道が引かれるということであれば、その水をぜひ学校のほうにも引いて、安定した供給ができればいいなというふうに考えているところでございます。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） ただいまですね、教育長から答弁されましたけれども、やはり学校というのは、子どもたちが何十人、多い数おられますので、何かあるとす

ね、大変だし、水だけはこの言い方はいけませんけど、水はですね、いい水を供給してやる必要が私はあると思います。今、検査もされているということで、そのあたりは安心をしておりますけれども。

私がですね、お聞きしたのは、夏場に、先ほど教育長からお話がありましたが、夏場にプールにどんどん水を入れると、やっぱり水源というのは何かつながっているところがあるのかもしれませんが、飲料水のほうに影響を及ぼすというようなところがありますので、そのあたりはですね、一度に入れないで、分けて入れるとかですね、その工夫はされているみたいですので、でも、根本的にはやっぱり水がちょっと心配されますので、いろいろ連携をとって、学校と連携をとってやっていただければと思います。

この水というのは、生活する上で本当に安心できる水っていうのが必要になってきます。それがやっぱり町民にとっても、一番望んでいるところではないかなという思いがしております。先ほども言いましたように、もう十数年も水源の確保に苦勞されておりますけれども、これはいっぺんに出てくればもう既に終わっているのかなと思いますけれども、なかなか水源の確保というのは難しいところがあるかもしれませんけれども、なるべくですね、早くできるように町のほうでも取り組んでいただければと思います。よろしく願いをいたします。

次に、まちづくりについてということで質問をさせていただきます。

上田町長は本年度の予算策定にあたり、3月の定例会で、施政方針、先ほども言いました、施政方針を表明されました。基本構想、基本計画、実施計画に基づいて五つの目標を示されています。今まで、フォレストアドベンチャーの整備とか企業誘致などのいろんな実績を積んでおられますけれども、施政方針でお話をされたのは、ほとんどが現在取り組んでいるものの延長線上にあるのではないかなと思います。継続して取り組んでいかなければならないものであるというふうに思うわけがあります。

この取り組みの中で、福祉また子育ての環境などはですね、他の自治体に比べてより充実しているんじゃないかなというふうに思います。私たちがいろいろ研修に行きますけれども、よその自治体からいろいろお聞きして話をしていると、この面に関してはやはり美里のほうが進んでるなと思うところが結構ありました。そういう点ではですね、福祉や子育ての環境についてはですね、本当に進んでいるんじゃないかなというように思いがしております。

ところが、美里町はですね、県内で3番目の高齢の町ということでもあります。高齢化がまた一段と進んでいきますし、その高齢化に対する対応また合併当初1万3,000人だった人口が、今年の6月末だったですかね、1万人を切ってしまいまし

みを行っているところであります。

また、農業分野においては、大型機械の導入であったり、単独土地改良補助金であったりというものもつくっているところです。

今後も、これら四つの基本目標を柱にして、魅力ある、選ばれる、そして安心して暮らしていけるまちづくりというものを進めていきたいというふうに考えています。

なお、今、国ではコンパクトシティというものの形成を推奨されております。これは急激な人口減少と高齢化が進む中で、一定の範囲内に住民が居住することで、子育て・教育・医療・福祉などのサービスを効率的かつ安定的に提供することを目指すものであります。確かに、今後はこのようなことも考えていかなければいけません。まずはしっかりと拠点拠点を整備することが大事だと考えます。遠くまで出かけなくても日常生活に欠かせない最低限の買い物ができたり、簡易な行政手続きもできる、あるいは仮に出かける場合でも公共交通を利用できる、そのような環境の整備も併せて重要だと考えますので、図っていきたくて考えております。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 美里町では、これだけですね、福祉に関しても教育に関してもいろいろやっているわけですがけれども、県といいますか、全国といいますか、そのあたりに私は伝わってないところがあるんじゃないかなと思うんですね。だから広報とかですよ、いろんな機会を、美里町がこんなにやっていますよという宣伝でいいですか、そのあたりはしたほうが私はいいいんじゃないかなって思いがしております。そのあたりもですね、ぜひ考えていただければと思います。

やはり、目先を追うのもありますけれども、将来を見越してから、やっぱり今から取り組まなければいけないというものがいっぱいあると思います。今回、上田町長は3期目の町長選に立候補の表明をされましたけれども、美里町がですね、美里町であり続けられるといいですか、そういうまちづくりをですね、ぜひ期待しております。

将来的には、もっといわゆる魅力のあるような町になって、ほかの自治体から研修に「わあ、美里町に研修に行っているいろいろ勉強してこ」というような町をつくっていただければ、自然と、その人口減少といいますか、そのあたりもですね、「わあ、美里町はよかところばい。んなら、ここに住んでみようか」という人も増えてくると思いますので、是非ですね、そういうまちづくりをしていただければと思います。

続いて、IT化について質問をいたします。

将棋の藤井聡太さんは、AIを活用して将棋の研究を重ねておられるそうであり

ます。その結果、史上最年少の18歳で棋聖・王位の2冠を獲得されております。学校の勉強もITを活用することによって根本的に変わってくるし、ITの利用の仕方によって学力に相当の差が出てくるんじゃないかなというふうに思っております。

美里町では、町立の小・中学校へのICT機器の導入やWi-Fiの導入も整いつつありますし、本格的なICT教育ができるようになってきております。学習に必要ないろんなアプリもあります。まあ、そのあたりのどのアプリを利用するのか。それと、機器を導入してもそれを使いこなせなければどうにもなりません。そのための人材の育成というのはどういうふうに考えておられるのかお伺いをいたします。

○議長（吉田美好君） 吉永教育長。

○教育長（吉永公力君） ICTについては、これからどんどん広がって行って、児童・生徒もおそらく日常的に使うような時代がくるんじゃないかなというふうに思います。

本町では、ちょうど1年ほど前に、励徳小をモデル校としまして約1年間進んできました。その励徳小には、1年前ですけれども、学習用端末を22台、それから電子黒板、これは種類がありますが、ディスプレイタイプを7台、プロジェクタータイプを1台整備をして、先進校としまして取り組んだ結果、教職員も児童も相当使えるようになってまいりました。そして、そういった中で、今年国がGIGAスクール構想を打ち出しまして、新型コロナウイルス感染症の関係もありまして、加速をしてまいりました。そして、全町内の児童・生徒に学習用端末を一人1台整備ということで、8月中には本町では届いております。それで、届いただけでは使えませんので、校内のネットワーク環境を、工事を2学期から始めまして、遅くとも来年の2月にはですね、使えるような準備を進めております。その前に、全ての学校1か所だけは環境を整えようということを進んでおります。

今、質問の人材の育成でありますけれども、本町では、そのモデル校となった励徳小に学校ICT支援員を配備しました。週に1回、半日程度学校訪問して、先生方のサポートをすると、そういったことをずっと1年間続けてきましたけれども、先生方が何か使い方がわからない、活用方法がわからないときにはその支援員に聞くというようなことで進んできた結果ですね、相当、授業でも今は活用されているところ です。

ですから、今後は、全ての学校にもそのICTの支援員を9月からもう配置して、既にもう学校に行き始めておられます。そういうことで、そのICTの支援員が1つの人材になり得ますけれども、既にノウハウを身につけている励徳小の先生方も、人材の一人として活用していけるんじゃないかなというふうに思っているところで

す。2学期及び3学期はですね、その会社の研修会の実施予定でありますし、学校間の交流、先生方の交流、そういったこともどんどん広げていって、励徳小以外の4校でも励徳小並みに使えるような研修を進めて、早く日常的に授業、その他で使えるようになるということを目指しております。もちろん、児童・生徒もですね、同じように、先生たちに負けないぐらいに授業で使えるようにということで、計画をして進んでいるところであります。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 新型コロナウイルスの感染対策として、4月16日から小・中学校が臨時休校に、46日間ですか、休校になりました。やはり、これなどではですね、授業時間の確保とか感染予防対策でまた、中学3年生の高校受験などのこともあって、相当、やはり教育委員会としては悩まれたんじゃないかなと思います。

熊本市ではですね、IT機器やらWi-Fiの環境が整っていたのと、民放4社の協力で、テレビ放送により授業が行われたりなんかしております。また、同時双方向型のオンラインの学習なども行われたと聞いております。臨時休校の期間が美里町よりも長かった割にはですね、夏休みも8月1日から31日までとられたということで、やはりこの授業に関しては、いろんな対応をとっておられるというか、対応できるような体制があったからこういうような形ができたんじゃないかなと思いますけれども、美里町においても、災害時におけるですね、授業の体制ちゅうかな、そういうやつはつくっておく必要があるんじゃないかなというふうに思いがしておりますけれども、そこ1点、そこを簡潔に教育長のほうから、どういう体制をつくってるんだということで。

○議長（吉田美好君） 吉永教育長。

○教育長（吉永公力君） 本町では、新型コロナウイルス感染症の関係で、約3か月臨時休校いたしました。本年度になってからは、4月・5月臨時休校で、6月から再開をしたわけですが、心配をされていた授業の進捗ですけれども、行事の精選であるとか、それから児童・生徒、それから先生たちの頑張りで相当追いついてきます。夏休みも2週間ほどにしまして、短縮しましたが、子どもたちにはかわいそうだったんですが、授業の進捗、今の教科書は今の学年で終るという目標からすると、かなり追いついてきているという話を聞いているところです。

ただですね、今後第3波・4波が来て、また臨時休校をせざるを得ないような状況がくるかもしれません。そのときに備えて、もう既に、児童・生徒に端末はっておりますので、早く使いこなせるような状態になって、万が一のときには、その端末を家庭に持ち帰らせて、オンライン授業ができるというなどこまで、できたらやりたいというふうに思っています。ただ、問題なのが、家庭にネット環境がないと

いう家庭があります。アンケート調査を実施しましたところ、2割から3割の家庭がまだ条件ができていないということです。そういった家庭をどうするかという問題で、例えばの話ですけど、地域の公民館にその子たちは集まって、そことつないでオンライン授業するという、若しくはですね、モバイルのWi-Fiのルーターをレンタルで子どもたちに、環境がない子どもたちに貸し出して、オンライン授業をするというようなことが可能かなというふうに思っております。

いろんなことが考えられますけども、これからは子どもたちが機器を使いこなして、万が一のときに備えて、オンライン授業で普通にやり取りができるという時代を見据えて、ぜひ早目に取り組んでいきたいというふうに思っております。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 町はICT機器はもちろん、空調設備とか学校の教育環境に関しては力を入れておられます。これらをですね、有効に活用して、子どもたちの能力を引き出して、学習の効果を上げていただければと思っております。

続いて、いま、学校のICTについて質問しましたけれども、地方自治体においてもICTはですね、やっぱり避けては通れない問題じゃないかなと思います。で、このですね、町における人材の育成というのは、私は重要じゃないかなと思います。例えば、ICT機器を導入するときに、業者がいわれたときにある程度それ等に対応できるような人材を育てていなければならないんじゃないかなというふうに思っております。

ちなみにですね、議会のほうでも議会改革の一環としてですね、議会のIT化について、前向きに今、調査をしているところであります。その効果として、業務の効率化、紙の削減などによる経費の削減が見込まれるわけでありまして、導入に当たって、大きな効果を出すためにはですね、議会とやっぱり執行部が一体となったIT化をしないと、その効果が出てこないんじゃないかと思っております。

まあ、そのあたりもですね、話が出てくると思いますが、まあ、簡潔に、人材の育成、どういうふうに考えておられますか。

○議長（吉田美好君） 宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） ご説明申し上げます。庁舎内のICT活用につきましては、当然のことながら、積極的に進めて行く必要があると考えております。

特にコロナ対策といたしましても、リモートの会議開催や電子決済、ペーパーレス化など、新しい生活様式にもつながる対応が求められています。そのための職員研修につきましても、積極的に取り組んでいきたいと考えております。議会におかれましても、議会改革の中でタブレットの導入を検討しておられると思いますが、職員も議会と歩調を合わせながら、ICT活用を進めていければと思っております。

ろでございます。

以上です。

○議長（吉田美好君） 時間がまいりました。

○10番（福田秀憲君） 議長、終わります。

○議長（吉田美好君） これをもちまして、福田秀憲君の一般質問を終わります。

ここで、10分間だけ休憩をいたします。再開を11時10分とします。

-----○-----

休憩 午前11時01分

再開 午前11時10分

-----○-----

○議長（吉田美好君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問の途中でしたので、一般質問を続けます。

次に、4番、坂田竜義君の一般質問を行います。

坂田竜義君。

○4番（坂田竜義君） 議長、4番、坂田でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君

○4番（坂田竜義君） はい。通告に従いまして、質問を行います。

まず1点目は、この新型コロナウイルス感染症対策でございます。まず、この現状認識と当面の対応ということですね、お尋ねをいたしますが、全国的には感染者が7万2,000人ですか。7万2,000人強ということでありまして。県内では先日、熊日に出ておりましたけれども、今日の新聞で560ですかね。560人。以前は保健所ごとの公表でしたけれども、最近では町村別の公表になっておりまして、特に宇城管内では宇土市が6名、宇城市が14名、本町はゼロということでございます。近隣で、上益城で山都町除いてですね、9名の感染者と、こういう状況になっております。一時は、今全国的には第2波が収束しつつあるとか、いろいろ専門家の見方も分かれておりますけれども、そういう状況になってるということでございますが、一時はこの、いわゆる熱中症とコロナとの関係ですね。熱中症で運ばれた人がコロナにかかっとなつた、いなことも例として出ておりますし、今後は特に心配されますのは、インフルエンザがまた大流行するだろうと言われておりまして、インフルエンザとコロナの関係ですね、このあたりが非常に心配されます。今のところ、うちはゼロ人なんです、いずれですね、感染者が出ないとも限りません。隣の宇城市で十何名、宇土市もおられますからですね。やっぱり行き来がありますし、交流がございますので、油断はできないと、まあこういうことだろうと思っております。

そこで、この今、町としてのコロナ対策における現状認識と当面の対応についてどう考えておられるか、お尋ねいたします。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 現状認識と当面の対応についてでございますが、新型コロナウイルス感染症の現状につきましては、全国的には陽性者数が6月以降半から増加に転じ、8月初旬頃をピークとして増減を繰り返しながらも、徐々に減少傾向にあるというふうに考えます。熊本県内におきましては、複数のクラスターも発生をいたしましたし、感染経路が不明の患者も多数確認されているところであります。また、宇城市、宇土市、上益城地域等の周辺自治体でも複数の感染が確認されております。

現時点では、町内における感染者は確認されておりませんが、いつ町内で感染者が確認されてもおかしくない状況であると言えます。

また、当面の対応でございますが、感染の拡大を抑制するためには、一人一人が感染防止対策を実践することが重要であると考えます。身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いの励行、これらを徹底していただくとともに、新しい生活様式が定着するような啓発というものを町は引き続き行ってまいりたいと考えます。

なお、もし本町において新型コロナウイルス感染症の感染者が確認された場合、町民の皆様には、感染者が誰なのか、あるいはどこなのかなどの詮索につきましては、偏見や差別を生じさせますので、厳に慎んでいただきたいと思いますし、冷静な行動をお願いしたいと考えます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 今、最後に出ました、いわゆる人権問題。もう町は言いませんけれども、ものすごい個人攻撃というかですね、貼り紙をしたりですね、もうとんでもないことが起こっているようでございます。

山都町ではですね、これもいわゆるフェイクニュースですが、フェイクニュースがSNSで流されてですね、とんでもないこれもまた嘘のニュースが拡散したとか、もういろいろちょっと想定できないようなですね、事態が起こっております。

そういうことで、これはもう意図的にかかろうと思ってかかるわけじゃありませんのでですね、そういうもし出た場合は、本当に人権問題には特に留意をされましてですね、対応していただきたいと思います。

続きまして、この特別定額給付金とオンライン申請の問題点ということでお尋ねをいたします。

大半が、もう今、定額給付金については98%、何人かはまだ支給がされていない方もおるとい話なんです、大半は、郵送による申請が大半だったろうと思いますが、インターネット環境が整っているところにおきましては、このオンライン申

請と、こういったこともかなり出てきたというふうに聞いております。ただ問題は、どこの自治体もそうですけれども、かえってオンライン申請をしたが故にですね、暗証番号を忘れてたり、いろんな支障を来してですね、窓口でオンライン申請の方が番号をまた求めるために殺到したというようなことでございます。本町におきましても、聞きますとですね、若干そういった状況が出ているようでございます。

政府の説明は、このIT環境が不備だとかですね、マイナンバー制度が不十分だとか、いろいろ言い訳がされておりますけれども、問題はこのマイナンバーは個人個人にナンバーを振ってありますけど、今度の特別定額給付金のやり方っていうのが世帯単位でやるとるもんだからですね。元々があわないわけですね。ですから、そういう問題が起きたというふうに私は思っております。世帯を枠としてガバナンスするという措置の限界が出てきたと。申請に準備するものとして、申請者のマイナンバーカードとか、マイナンバーカードの読み取り対応のスマホとかですね、マイナポータルアプリとか、ずーっと5点ほど羅列がされております。振込先口座の確認書類とか。そして、さらに具体的作業手順としては、マイナポータルにアクセスして申請書を記入して云々ということで、ずーっといっぱい書いてありまして、よほどインターネットを日常されている方もですね、よくよくきちっとこの点検しながらやらないとですね、この申請書のつくり方も非常に難しいと。こういった状況であります。

で、あと、マイナンバーカードが導入されて10年なんですけど、電子証明書については5年ですから、期限が切れてる人が多いということで、庁舎窓口で殺到したと。暗証番号が4種類あるわけですね。うち3種類は数字が4桁なんですけど、あと一桁は、署名用の電子証明書暗証番号が6桁から16桁の英数字ということで、日頃使わないから全く忘れてしまっております。私も、もちろん忘れております。メモしていても見つからないと。こういう状況ですから、最初から登録していない人ももちろんおります。そういうことでやっぱりこの特別定額給付金の関係で、オンライン申請を受け付けた今度のうちの町に限ってですね、この問題点というのはどのように捉えておられるのかお尋ねいたします。

○議長（吉田美好君） 宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） ご説明申し上げます。

特別定額給付金につきましては、5月10日と11日に、収入減の著しい世帯及びひとり親世帯を対象に事前受付を行い、5月12日から一般の申請受付を行い、8月11日で申請受付を終了いたしております。

5月11日に最初の給付を行って以来、4,216世帯、9億8,070万円の給付を行っております。予算に対する執行率は99.5%となっております。

今、お話がありましたオンライン申請につきましては、24世帯71人分で、5月22日以降は全く申請があっておりません。

オンライン申請についての問題点といたしましては、マイナンバーカードの取得に加え、先ほど申された6から16文字の署名用電子証明書暗証番号及び4桁の利用者証明用電子証明書暗証番号の記入が必須であり、この番号を忘れたという方は、再設定の手間がかかるということがありました。また、オンライン申請であっても、システムが自動でデータを読み取って支払いにつながるというのではなく、内容確認のため、一度ペーパー出力をし、他の郵送等の申請書と一緒に支払い事務をするということで、特に省力化につながるものでもなかった。こういった問題点が上げられております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 今後もこういう同種類の特別定額給付金等が出るかどうかわかりませんが、今度のこのオンライン申請の問題点、うちはまだ24世帯の71人ですから少ないほうなんですけど、各都会の自治体ではですね、ものすごい手間ひまがかかったというふうに聞いております。

今言われますように、結局受け付けてもですね、暗証番号登録のときに、まず役場に住民が来られなくてはならない。そして受け付けても、ほとんどまた審査は手作業でやるからですね。ものすごい手間ひまがかかる、郵送よりもはるかに手間ひまがかかると。こういうことですから、今後はもう郵送に絞るとかですね、いろんな知恵を絞っていただきたいと思っております。

3点目の各種支援金・給付金の支給実績はどうなっているのか、お尋ねをいたします。

○議長（吉田美好君） 宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） 説明申し上げます。

各種支援金・給付金の支払い実績ということで、まず中小企業者への資金繰り支援策として、金融円滑化特別資金があります。全部で現在40件の申請があっており、融資総額は5億2,670万円となっております。その内訳としましては、売上高が前年同月比で20%以上減少した方に融資するセーフティーネット保証4号分が34件で、融資額3億6,020万円。売上高が前年同月比で5%以上減少した方に融資するものがセーフティーネット保証第5号分で3件、融資額が3,600万円。売上高が前年同月比で15%以上減少した方に対するものが、危機関連保証分3件、融資額が1億3,050万円となっております。

次に、中小企業者事業継続支援金。町単独事業でございますけど、申請件数が1

16件で、交付済みが111件、交付金額は合計で1,420万円となっております。このうち、国給付金受給者の方が該当するものが、法人32件で640万円。個人事業者82件で770万円。県支援金受給者に該当する方が個人申請2件で10万円となっております。

次に、子育て世帯臨時特別給付金。これは児童一人につき1万円を給付するものですが、申請が463件の869人分、869万円を支給しております。それと、同じく子育て世帯臨時特別給付金、これは町独自分で、児童一人につき2万円を支給するものですが、申請が87件で125人分、250万円を、これは9月の17日に支給予定となっております。

それと、要保護・準要保護児童生徒臨時特別援助費につきましては、申請が17件で29人分、58万円を支給いたしております。

また、農業関係では、高収益作物次期作支援交付金。これは次期作生産に前向きに取り組む農家に、作物の内容、面積に応じて交付するものですが、熊本宇城農協取り扱い分が申請125件、町農業再生協議会取り扱い分が申請6件、こちらにつきましては、いずれもまだ審査中でございます。

それと、経営継続補助金。これは新型コロナ対策の生産販売方式への転換を図る費用の4分の3を援助するものでございますが、熊本宇城農協取り扱い分が申請44件、こちらも現在審査中となっております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） わかりました。ただ、全体的にですね、国におきましては補正がですね、第1次に30兆円、第2次30兆円、合計60兆円もの大変な額の補正予算が組まれておりますが、結局、あまりにも支援の手が届かないためにですね、コロナによって倒産・廃業、ものすごく増えております。そういったことで、これは町に言っても仕方ありませんけれども、国に対しまして、せつかく大きな額の補正を組んでおるならですね、できるだけ早く該当者にですね、支援の手を差し伸べていただくように町村会を通じてですね、要望していただきたいと思っております。

学生に対しても支援の制度、いろんな品物を送ったりされておりますが、学生も結局コロナでアルバイトができないからですね、もう退学するとそういう人が結構増えてるそうです。親の支援はもう当てにせずに、自分で働いて学校に行こうという人たちはアルバイトをするわけですね。ところがそのアルバイト先がコロナで仕事がないから、学費が払えないからやめにやならんて、そういう事態も起きておりますのでですね、本当にやっぱり税金で支援はしなければですね、これは救えるは

ずはないから、強く取り組みをですね、要請していただきたいと思っております。

続きまして、「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」について、お尋ねをいたします。

この第1次の計画は、2015年から19年までの5年間ということで、KPI数値目標も掲げてですね、取り組みがされまして、町の今度の新しい計画にもちゃんと5年間の総括もですね、ちゃんと出て説明がされております。国におきましては、一番大きな問題でありました東京一極集中というのを避けるというのがありましたが、5年間経ってどうだったかといいますと、これほとんど実現されておられません。そういうことをございますけれども、町のこの5年間のですね、町の総合戦略の特徴点と課題ということで、何を重点的にですね、町をこの総合戦略として進めていくのか、お尋ねをいたします。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 本町はこれまでの施策の成果を踏まえ、第1期総合戦略から新たな施策の追加や評価指標の見直しなどを行い、令和2年3月に町の総合戦略である「第2期美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところであります。

現在、人口減少と、先ほど議員がおっしゃいました東京圏への一極集中、これは全国的な課題となっておりますが、美里町におきましても、この人口減少というものが大きな課題であるというふうに認識しているところでございます。人口減少は、生活・産業・教育・医療など多方面への影響が懸念されますので、この課題を踏まえて、第2期美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、四つの基本目標を設定しております。

一つ目は、基幹産業を再生するとともに、安心して働けるようにする。二つ目は、美里町へのつながりを築き、新しい人の流れをつくる。三つ目は、結婚・出産・子育ての希望を叶える。四つ目は、人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な町をつくる。でございます。

この四つの目標に向かって、今後効果的な施策を検討し、具体的な事業の実施に取り組んでまいります。

○4番（坂田竜義君） あとで出てくると思いますけれど、先ほどの

○議長（吉田美好君） 議長を通してください。

○4番（坂田竜義君） はい、議長。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 先ほどの質問の中にもありましたけども、この人口流出の関係ではですね、いろいろ、いわゆる定住人口というのがありますね。それと、交流人口、交流人口ちゅうのは観光とか、我が町に訪問される方の人口、一番重要視され

て今度書いてありますのが、関係人口というですね、ことに非常に重点を置いた政府の方針が出ております。この関係人口というのは、うちの町の出身者とかですね、過去にうちの町に住んだ人、勤務した人、あるいはふるさと納税とか寄付をしている方とかですね。そういった方が今現在はここの町に住んでいないけれども、都会に住んどる人がですね、定期的にうちの町に来て、帰って、農園をしたりですね、いろんな農家との交流をしたりして、ずーっと地道だけでも長期にわたって交流を深めてですね、ほとんど住民と変わらんような、そういう状況をつくっていくことが関係人口と、こういう位置づけてありますが、これをできるだけ増やしていこうと、それはなかなか定住を増やすということは、物理的に、全部が減っていくから、2060年に4千いくらをちょっと緩和しますて、その減るのを緩和しますていうのがうちの町の目標ですよ。ただ、交流人口ももちろん増やさないかん、フォレストアドベンチャーとかいろんな観光施設がありますので増やさないかんけれども、一番重要視すべきなのは、関係人口ということで、先ほど申しましたような交流の方法をですね、ぜひ町としてはですね、重点を置いて考えていただきたいと思っておりますが、この点はどうか。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 今度新しく、美里町の地域おこし協力隊で来た方がいらっしゃいますが、その方が学生時代に他拠点生活、おっしゃいましたその関係人口に関するゼミで習っていた、研究をしていたというような話も聞いておまして、今入っていただいて、この美里町でどういうことができるのかということも含めて考えていただいているところです。いろんなご意見をいただきながら、議員がおっしゃいましたように関係人口も含めて、魅力あるまちづくりをつくっていきたいと考えております。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 次の、地方創生臨時交付金の町への交付額と使途ということですが、一応、地方創生の臨時交付金につきましては、新型コロナ対策というところで、最初は1兆円と、全国規模で1兆円、そして追加の2兆円ということで、計3兆円がですね、地方に交付されると。こういうことになっております。

追加の2兆円分については、事業継続、雇用維持の面に1兆円、地域経済活性化に1兆円とこういう位置づけがされておりますけれども、うちの町にはいくら交付があつて、何に使われるのかですね、お尋ねをいたします。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するとともに、感染症拡大により影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、

地方創生を図るため、地方自治体が各地域の実情に応じて必要な事業を実施できるよう創設されたものでございます。

美里町への交付額につきましては、第1次分として8,926万6,000円の交付決定、第2次分として、2億9,164万4,000円の、これは限度額が通知されておりますので、総額3億8,087万円となっております。

なお、2次配分分の内訳でございますが、事業継続や雇用維持などに4,288万7,000円、それから新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化、これに2億4,875万7,000円となっております。

使途の主なものといたしましては、地域経済活性化と町民生活支援といたしまして、地域通貨さくら、プレミアム付き商品券もみじの発行、事業者の事業継続支援といたしまして、国・県の支援金受給者に対して持続化給付金の上乗せ、利子補給、感染拡大防止対策に係る経費の一部補助を行っております。

また、教育・ICT化促進といたしまして、学習用端末及び電子黒板の購入など行っております。

また、庁舎及び町有施設における感染拡大防止といたしまして、消毒液等の消耗品やパーティションの購入等にも活用している状況であります。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） わかりました。

続きまして、地方創生推進交付金ですね。昨年までは、産業連携協議会とかですね、いろいろな使途に使われているのはわかっておりますが、この、今年度の地方創生推進交付金の使途はどうなっているか、お尋ねいたします。

○議長（吉田美好君） 渡邊企画情報課長。

○企画情報課長（渡邊徳晶君） ご説明申し上げます。

地方創生推進交付金とは、地方自治体の総合戦略に位置づけられた取り組みで、地方自治体が地域再生法に基づく地域再生計画を策定し、申請を行い、これが地方自治体の自主的かつ主体的な取り組みで、先導的な事業と認定された場合に交付されるものです。

美里町においては、二つの事業でこの地方創生推進交付金の交付決定をいただいております。

まず、一つ目の事業として、議員がおっしゃいました「美里まるごと元気か美里スタイルプロジェクト事業」で、365万2,000円の交付決定をいただいております。これは、町内の農業・商業・工業・観光業等に携わる関係団体・個人で組織する産業連携協議会による、地域活性化を促進する事業です。具体的には、観光・商品・民泊・情報発信の四つの部会の活動を通して地域資源を活用し、交流人

口の増加及び地域産業の振興に取り組んでいくものです。

また、将来的には、産業連携協議会が自立して、町のPRや町産業の活性化を先導する主体的な組織となることを目指しており、町としましては、この組織形成に向けた支援を行ってまいります。

また、二つ目の事業としまして、「恋人の聖地 観光誘客連携による地域活性化事業」で1,088万3,000円の交付決定をいただいております。恋人の聖地とは、NPO法人地域活性化支援センターが、恋人たちが集うロマンティックなスポットとして選定した場所のことで、美里町は二俣橋が選定されています。交付決定を受けた事業は、選定された恋人の聖地を持つ全国の12自治体が共同で全国に向けて情報を発信するなど、12自治体で連携して取り組む観光誘客連携事業でございます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのイベント等が中止になっている状況ではありますが、地方推進交付金事業については、今後の地域経済を支えるためにも、できる限り効果が上がるように進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 続きまして、この地方創生の一環でですね、この第10次の地方分権一括法の改定というのがされております。その中で、もう羅列しなくて結構ですから、うちの町に関係する部分だけですね、どのようにこの地方分権一括法の改正が関わってくるのかお尋ねいたします。

○議長（吉田美好君） 宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） 説明申し上げます。

第10次地方分権一括法におきましては、10の法律に係る13の改正事項が盛り込まれております。そのうち、本町に関係があると思われるのは、「子ども・子育て支援法」「公職選挙法」「地方独立行政法人法」「児童福祉法」「生活保護法」「森林法」の六つの法律改正になっておりますが、現状で実際、町の事務に関係があると思われるのは森林法の改正で、町が実施する森林の土地の所有者等を把握するための調査により得られた情報を森林台帳へ反映するもので、地方税法上の守秘義務の対象である固定資産税情報について、町内部での利用が可能となり、森林の土地の所有者の正確な情報の把握が可能となり、町における森林法及び森林経営管理法に基づく円滑な業務実施につながる面があると思われま。

その他の改正につきましては、現状、町で行っていない事業や過去の事例としてもほぼなかった事案に関するものであり、特に大きい影響はないものと認識いたしております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） この関連しましてですね、この新型コロナ対策・対応に関連したものと思いますが、この「地域未来構想20」ということですね、政策分野と教育・医療含めて20ぐらいですね、提案されております。

この中で、うちの町に何か適用できるものがあるのかどうか、お尋ねいたします。

○議長（吉田美好君） 渡邊企画情報課長。

○企画情報課長（渡邊徳晶君） ご説明申し上げます。

「地域未来構想20」とは、国が新しい生活様式に対応した取り組みとして、社会的な環境整備、新たな暮らしのスタイルの確立、新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進の大きな三つの項目の下に、20の具体的な政策分野を例示したのになっております。

その例示された政策分野を参考に、各地方自治体の判断で、地域の実情に応じた取り組みを行うことが期待されております。

また、この地域未来構想20に関連しまして、国は関心のある自治体や、例示した各分野のスキルを有する専門家、関連施策を主管する府省庁との連携を支援するために、「地域未来構想20オープンラボ」というものを開設しており、現在、美里町を含め、県内では7つの自治体がこのオープンラボに参加しております。

美里町におきましては、現在このオープンラボにおいて専門家からの助言、提案を受けている段階でございます。今後の具体的な事業実施につきましては、こちらのオープンラボを活用しながら地域の実情に配慮して、美里町独自の取り組みを検討し、効果のある施策を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） ぜひ、活用できるものはどんどん活用してですね、お金の活用ができるものはどんどん町に持ってくると、こういう考え方でですね、取り組みをいただきたいというふうに思います。

続きまして、3点目の大きな3点目、新しい食料・農業・農村計画についてお尋ねをいたします。

これも、大体10年計画ですが、5年ごとの見直しということで、この前の計画は2015年に策定されたものでございますが、今度新たに、今年、今年度からスタートいたします計画はですね、前の2015年に策定された計画とどのように変わっているのかお尋ねをいたします。

○議長（吉田美好君） 富永経済課長。

○経済課長（富永英司君） ご説明申し上げます。

今回の計画見直しで、前回の計画から大きく変わった点としましては、食料・農業・農村に関し、総合的かつ計画的に講ずべき施策の中で、農業の持続的な発展では、今までの規模拡大など大規模農家に重きを置いていた施策から、中小・家族経営などの多様な経営体を地域社会の維持の面でも、担い手とともに重要な役割を果たしているとしまして、経営規模の大小や平地や中山間地などの地理的条件に関わらず、農業経営の底上げを講じ、幅広く生産基盤の強化を図っていくということになっております。

また、農村の振興では、農村を維持し、次の世代に継承していくため、中山間地域をはじめとした、農村に人が住み続けられるための条件整備や、農村を支える新たな動きや、活力の創出など、活力ある農村を実現するため、関係府省と連携した仕組みの構築を進めていくことが示されております。

加えて、食と環境を支える農業・農村への国民の理解を醸成し、農は国の基であるという認識を共有するための取り組みとしまして、食と農に関する国民運動の展開などを通じた国民的合意の形成、さらに、新型コロナウイルス感染症をはじめとする新たな感染症への対策として、国産農産物の消費拡大運動などによる内需の拡大や、国産原料への切り替えを外食・加工業者へ促すなどの対策を講じること、などの2点が新たに施策として追加をされております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 5年前の計画は、わかりやすく言えば官邸主導のですね、計画だったと。官邸は経済産業省が主導しておりますので、農林水産省をおさえてですね、官邸がつくった計画だったというふうに言われております。今度は江藤大臣が積極的に取り組まれておりますので、前回欠落した部分がですね、元に戻って、先ほど説明されますように、中小の規模の農家についても手厚く施策を講じるというようなことが出てきましたし、有機農業とか生物多様性の保全とかですね、そういった新たな視点で計画が策定されていると、このように思います。

県におきましては、この国の計画を受けて地域整備計画というのが県では出されておりますが、町では特にその、これに関して特別な計画というのはないですね。ないと思いますが、具体的な施策はこの予算に反映させて、実際進めていくということであろうと思いますが、九州農政局が例年出しております九州農業レポートというのがですね、先日熊日新聞にも出されております。これは2019年の内容のレポートが出されておりますが、とにかく輸出を伸ばさないかんということで、最終的には締めてありますが、今コロナですから、なかなか輸入を規制している国も

ありますし、輸出をしようとしてもですね、なかなか思うようにいってないというのが現状だろうと思います。その中で、記載しておられるのがですね、いわゆる地理的表示保護制度ということで、特別に書き出してございます。これはどういうことかという、品質や社会的評価を確立した特性が産地と結びついている商品についてですね、その名称を知的財産として保護する制度ということで、G Iということで、この九州レポートの中に書き出してあるわけです。その中に、いわゆる産地は八代ショウガの産地に組み込まれているけれどもですね、実際つくられているのは、八代ショウガは八代市氷川町、宇城市小川町の海東地区と美里町中央地区というのが入るとるわけですね。ですから、せっかく八代ショウガというブランドかもしれないけれども、実際つくっておられますよね。で、私は以前、このショウガも町の特産品に指定したらどうかということをお願いしたことがございますが、今例えばお茶とかですね、アスパラガスだとか、メロンだとか、かぼちゃとか、いろいろ特産品があります。是非、こういう地理的表示保護制度の中に入ってるならばですね、このショウガについてもですね、ぜひ特産品として位置付けをして、奨励金とか補助金とかですね、そういった対象にも考えられないだろうかということで、この点、どうお考えか、お尋ねいたします。

○議長（吉田美好君） 富永経済課長。

○経済課長（富永英司君） ご説明申し上げます。

町の特産物につきましては、先ほど議員がおっしゃられたとおり、特産物の生産振興を図るため、指定振興作物を選定をしまして、一人当たり種苗代、資材代などの生産資材の3分の1以内、10万円を上限としまして助成を行っております。

指定振興作物の選定につきましては、美里町総合農政推進協議会におきまして、JAなどの関係機関、農家代表の委員の皆さんなどの意見を聞きながら、取り組んでいく作物の検討を行っております。

ショウガにつきましても、協議会でのJA並びに農家の委員の皆様方の意見を聞いてですね、それを踏まえて今後検討のほうをしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） この、先ほどちょっと言いかけましたが、国の基本計画、県の地域整備計画、これを受けて、この町の農政ですね、農業・農村政策。この点について、この先5年10年の見通し、これはなかなか難しいと思いますが、その概略というかですね、そういうものがあれば、どうなっているのかお尋ねをいたします。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 新しい基本計画の中でも、10年後には全国的に見て、何も対策を講じない場合は、農地面積について10%、農業従事者につきましても37%が減少する見込みとなっております。

美里町におきましても、農地面積、農業従事者の減少につきましても避けられないものと考えており、今回見直しされた計画でも、農業者の高齢化や農村人口の減少による農業生産基盤の損失、地域コミュニティの衰退が大きく進むことに対し、懸念が示されております。

今後、国の計画で示されました地理的条件に係らない生産基盤の強化、中小・家族経営農家などの経営体支援、農業と農業以外の仕事を組み合わせて実施する個人など、多様な働き方への支援、これらに沿った具体的な支援策や補助事業などのメニューが決まってくると思われますので、それらの事業を活用しながら、美里町の地理的条件や経営形態にマッチする施策を講じ、農地や農業従事者の減少に少しでも歯止めをかけるべく取り組んでまいります。

併せまして、高齢化が更に進んできます。集落営農であったり、機械利用組合など、こういったことに対する営農の在り方、こういった理解も進むように周知していきたいと考えております。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 今言われましたようなこと、ぜひ予算にもですね、反映していただいて、具体的に施策に生かしていただきたいと思います。

3点目は、特にこのコロナ禍での町の対策と。特別あればですね、お尋ねいたします。農政におけるコロナ禍対策というか。

○議長（吉田美好君） 富永経済課長。

○経済課長（富永英司君） ご説明申し上げます。

特に、コロナ禍での町の対策ということでございますが、現在、町が実施しております事業につきましてもですね、コロナの影響で事業が中断・中止というふうな事業については、現在、今のところはあっておりません。

今から、今後町のほうで進めていく事業の中で、本来であればですね、人・農地プランの実質化などに伴いまして、各地域に出向いて農地の出し手や借り手の把握、地域の農地、農業の将来を考える話し合いの場を持つというふうなことで計画をしておりますが、現在のような感染の状況が続けばですね、開催について、密を避けられないというふうな状況になりますので、そちらについては難しくなるのではないかとこのように懸念をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） はい、よろしくお願ひいたします。

続きまして、4点目は、森林組合法改正に対する町の対応について、お尋ねをいたします。

まずこの森林組合法の改正の主なポイントと、町としてどんな問題意識を持っておられるのか、町にどういう関わりがあるのかお尋ねをいたします。

○議長（吉田美好君） 高田林務観光課長。

○林務観光課長（高田浩幸君） ご説明申し上げます。

今回の、森林組合法の一部を改正する背景としましては、杉などの人工林が本格的な利用期を迎え、近年、森林経営管理制度の創設等を受け、地域林業経営の重要な担い手である森林組合は、意欲と能力のある林業経営者だとして、経営の管理、木材の販売強化を進め、山元への利益還元を進めていくことが重要であり、このために組合と組合員の信頼関係を保ちつつ、森林整備に取り組む販売事業を拡大して経営基盤の強化を図ることが背景にございます。

改正のポイントは、大きく三つございます。

1点目は、事業譲渡や新設、吸収、分割などの制度の導入であります。これは地域組合を残したまま、部門ごとの合併が可能で、主に木材販売事業に特化した新組合を立ち上げることで利益の拡大を目的としております。

2点目は、正組合員資格の拡大であります。森林所有者の本人に加え、推定相続人、後継者にあたりますが、を正組合員に追加でき、人数の上限を設けないということになっております。

3点目は、事業執行体制の強化。つまり、販売や法人経営に実践的なノウハウを持った理事1名以上を配置し、経営能力の向上を図ることを目的としております。

町といたしましては、法律の一部改正により、町内で唯一の林業事業体である緑川森林組合の立場が非常に重要であり、森林経営管理制度のもと、再委託先としては優先度の高い経営体であります。昨年、三溪地区を対象に意向調査を実施し、6割の回答書の中で、5割の方は町に経営を委託したいという回答を得ております。今後は再委託先として、経営基盤の強化がなされる事業体への再委託は最適であると思われます。しかし、現実はそのような人材を確保するというのは、非常に困難が予想され、実現するには多大なる努力を要すると考えております。

県内の森林組合は、地域ごとに合併が進んでおります。しかし、経営基盤強化の視点から、更なる合併も想定されます。森林の豊富な本町にとっては、林業の再生が重要事業であり、実行できるよう関係機関と連携し、協力していくことが重要であると考えております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） 捉え方にもよりますが、1、2ちょっと漏れてるなあって感じたのがですね、一つは今回の森林組合法の改正の中で、森林組合法では営利を目的としたその事業を行ってはならないと、こういう文言がありますが、これが、文言が削除されております。これはわざわざ削除されなくてもですね、いいような部分をわざわざ削除してあるというのは、何か違う意図があるのかなと思いますし、役員協議不承義務の削除ということで、役員であってもいろんな森林組合員の関連する仕事をしてもいいよというようなことにですね、やっぱり変わって、相当そのあたりの内容的な部分が変わってくるのかなとちょっと心配をしております。

現状としましては、皆伐をしてですね、みんな伐採しても再生林をしない、あるいは共同の間伐をしても残木が風倒木になったり、病気で枯れる、山はハイテク機械を通すために、ジグザグの作業道をつくれますけれども、そのジグザグの道がですね、沢に向かって崖崩れをしたりですね、残木の利用ができなくなったり、非常に大きな災害が出て、こういった現状もあるわけでございます。

そういうことで、今回は森林組合法が改正されましたが、以前、その前には森林経営管理法が改正されました。また、国有林の管理法も改正されましたし、森林環境税というのが新たに出てまいりました。森林環境税もいろいろと問題がありますけれども、それはそれとして、山を守る財源としてですね、きちんとやっぱり町としては、この財源を有効に活用した取り組みをですね、していただきたいと。このように思うところでございます。

また、2点目、この森林組合への地元の上益城の森林組合ですか。緑川か、緑川森林組合。今後のこの法改正に伴う森林組合の対応についてはどうお考えか、お尋ねいたします。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 森林組合への今後の対応でございます。町といたしましては、直接組合経営や人事権に介入はできないものの、森林の有する公益的機能の維持・増進、林業従事者の所得向上と担い手の育成、労働安全対策をはじめとする就業条件の改善、そして何よりも山元への、山を持ってらっしゃる方への利益の還元、あるいは防災の観点からも森林組合と今後も緊密に連携・協力することは当然でございます。今後も森林組合と一体となって、着実に森林整備、推進を図っていきたいと考えております。

○議長（吉田美好君） 坂田君。

○4番（坂田竜義君） この国有林野管理経営法の改悪と、私は思いますけれども、森を大規模に伐採して大型化した川下の木材産業、あるいは丸太ごと燃やす大規模な

バイオマス発電とかですね、低価格での大量の素材供給を行う目的でされましたけれども、本当にこれで山が守れるかなと危惧しております。ぜひ、今お答えがございましたが、森林組合等と十分連携をとってですね、山を守る、そういう取り組みをきちっとやっていただきたいと思います。

最後に、このトラクターの大型特殊免許取得について、お尋ねをいたします。

町のホームページでも出されておりましたし、町の広報でも何回か出されておりますけれども、以前は認められていなかった作業機付き走行がですね、道路交通法の改正によりまして、今年の4月から規制緩和でこれが可能になったということですが、反面、一部の車両、170センチとかいろんな要件はございますが、一部の車両は大型特殊免許の免許が必要になったと、こういうことでございます。

先日、JA宇城を調べましたところ、JA経済連が主催いたします令和2年度の農作業安全講習の申し込みがですね、定員6回の180名に対しまして、1,596名の申し込みがございまして、約9倍でありました。ですから、もう大半、十何%しか、要するに、抽選の結果ですね、受講ができないと、こういう状況だということでございます。ただ、いろいろ最近では、熊本・大分商業、農業機械商業組合ですか。そういったところも募集しておりますし、個人で、いわゆる教習所とかで大型特殊免許のコースがあるところは、近いところが八代とかですね、ございますが、八代でも遠いですよね。ですから、そういうことで、非常にそういう教習所を利用するのか、JAとかこういったものに入れればいいけどですね。あと、その商業組合が募集する、その抽選に当たればいいけど、大半の人たちが非常に困っておられるわけですね、実際のところ。だから、これは非常になかなかその、うちの町単独ではなかなかできないかもしれないけれどもですね。JA宇城管内で、千何百名の人たちがあぶれとるような状況ですからですね。是非、広域連合とか宇城・宇土の各首長さん方と相談していただいでですね。何かそういう対策・対応が、なかなかこれは難しいと思いますよ。難しいと思いますけれども、そういったものがないのかですね、お尋ねをいたします。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 今、議員がおっしゃいましたように、トラクターの作業機付き公道走行につきましては、平成31年4月に国の規制緩和に伴い、可能となりましたが、作業機を付けた状態で、全幅1.7メートルを超えると、道路交通法では大型特殊自動車に区分され、大型特殊免許が必要となっております。

現在、町におきましては、各種団体が募集している大型特殊免許取得のための講座であったり、試験について、町広報誌、防災無線、町ホームページを通して周知を行っているところであります。

また、今回の質問を受けまして、農業大学校に対し、講師派遣であったり、講座の開講について問い合わせを行いました。おっしゃいますように需要が多すぎて対応できないということでありました。

今後も、周辺の市・町と情報を共有しながら、共同での講習開催等できないか、模索してまいりたいと考えております。

○4番（坂田竜義君） はい。なんとかですね、これは難しい課題かもしれませんが、非常に、希望しても行けないということで、片方ではそこに、その農業機械を利用しなくちゃできない状況ですから、なんとかですね、いい方法があれば考えていただきたいと思います。

以上で終わります。

○議長（吉田美好君） これをもちまして、坂田竜義君の一般質問を終わります。

以上で、通告されておりました一般質問は全部終了をいたしました。これで一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は終了しました。

お諮りします。本日はこれで散会したいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

また、お諮りします。明日10日木曜日は休会とし、午前10時より各常任委員会を委員長の指示により開いていただき、終了後は委員長の指示により散会していただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがいまして、本日はこれで散会し、明日10日木曜日は休会とし、午前10時より各常任委員会を委員長の指示により開いていただき、終了後は委員長の指示により散会していただくことに決定をいたしました。

なお、常任委員会の会場は、総務常任委員会が委員会室、経済建設常任委員会が第1会議室、社会文教常任委員会が第2会議室をご利用ください。

明後日11日金曜日は、午前10時から会議を開きます。

それでは、本日はこれで散会します。

-----○-----

散会 午後0時07分

第 3 号

9 月 1 1 日 (金)

令和2年第3回美里町議会定例会会議録（第3号）

令和2年9月11日(金)

午前10時00分開会

1. 議事日程

日程第1		各常任委員会報告及び質疑
(1) 総務常任委員会委員長
(2) 経済建設常任委員会委員長
(3) 社会文教常任委員会委員長
日程第2	議案第66号	令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について
日程第3	議案第67号	令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第4	議案第68号	令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第5	議案第69号	令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第6	議案第70号	令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第7	議案第71号	令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第8	議案第72号	令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第9	議案第73号	令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）
日程第10	議案第74号	令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
日程第11	議案第75号	令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）
日程第12	議案第76号	令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算（第1号）
日程第13	議案第77号	令和2年度美里町生活排水特別会計補正予算（第1号）
日程第14	議案第78号	令和2年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
日程第15	議案第79号	令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
日程第16	発議第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
日程第17		議員派遣の件について
日程第18		各常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査の件について
日程第19		議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査の件について

2. 出席議員（12名）

1番	高田美千子君	2番	光井博幸君
3番	今田政行君	4番	坂田竜義君
5番	上田孝君	6番	松永正憲君
7番	中川政司君	8番	吉田起登君
9番	上村則幸君	10番	福田秀憲君
11番	濱田憲治君	12番	吉田美好君

3. 欠席議員（なし）

4. 説明のため出席した者

町長	上田泰弘君	副町長	吉住慎二君
教育長	吉永公力君	総務課長	宮寄幸仁君
企画情報課長	渡邊徳晶君	税務課長	田上和則君
住民課長	山田輝臣君	福祉課長	中村武志君
健康保険課長	松永栄作君	経済課長	富永英司君
林務観光課長	高田浩幸君	建設課長	長井寿浩君
水道衛生課長	北島浩徳君	会計課長	池永英治君
学校教育課長	坂村浩君	社会教育課長	中川幸生君

5. 事務局職員出席者

事務局長	倉田辰実君	書記	津田里美子君
------	-------	----	--------

開議 午前10時00分

-----○-----

○議長（吉田美好君） おはようございます。本日の会議を開きます。

なお、上着につきましては、着脱はご自由をお願いをいたします。

-----○-----

日程第1 各常任委員会報告及び質疑

○議長（吉田美好君） 日程第1、各常任委員会報告及び質疑を行います。

まず、総務常任委員会の報告を求めます。総務常任委員会委員長、上田孝君。

○総務常任委員会委員長（上田 孝君） 改めまして、おはようございます。

昨日、総務常任委員会を行っておりますので報告いたします。

総務常任委員会報告

美里町議会議長 吉田美好様

令和2年9月10日、午前10時より、総務常任委員会を行いましたので報告いたします。出席者は、総務常任委員会より吉田美好議員、上村委員、光井委員、上田の4名、執行部より宮寄総務課長、渡邊企画情報課長、田上税務課長、山田住民課長、池永会計課長の5名が出席されております。

まず、令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）について、関係課長より説明を受けました。

主なものとしたしまして、総務課ではオンライン対応契約管理システム整備委託料等について。消防費の災害対策費において、備蓄・避難所用消耗品は、ダンボールベッド、避難所運営キットの購入に充てるものでございます。

企画情報課では、eスポーツでいい里づくり事業委託料等について。備品購入費の東部地区活性化施設の分は、買い物の利便性を向上させるため、食品陳列用の冷蔵庫等の購入に充てるものでございます。

住民課では、社会保障・税番号制度システム整備委託料等についての説明を受けております。

次に、令和元年度美里町決算書について、各課より歳入歳出事項別明細書の主要なものを簡潔に説明していただいております。委員より、予備費の充用について、前年度より件数、金額とも増加していることはあまり好ましくなく、当初予算の編成に当たっては、これまで以上に計画的かつ慎重に行うようにとの要望がありました。

休憩をはさみ、午後12時30分より現地視察として美里バスの試乗を行いました。東部活性化施設よんなっせの東部拠点より、原町駐車場の砥用拠点まで美里バスに試乗し、砥用拠点から砥用中央バス停へ徒歩で移動し、民間路線バスで道の駅

拠点までの試乗を行いました。バスの待ち時間に、美里バスの改良点や主要バス停間のタクシー移動などについて説明を受けております。各委員より、拠点の待合所の環境整備についてや乗務員の接客のあり方について、路線バスの利用者は高齢者が多いので、乗降時のステップの工夫を事業者に要望していただきたいとの意見がありました。

なお、各議員のお手元にも関係資料を置いてあると思いますので、目を通していただければと思っております。

午後3時に帰庁し、委員会を終了しております。

以上、報告を終わりますが、報告漏れがあれば他の委員さんの補足をお願いいたします。

○議長（吉田美好君） 以上で、総務常任委員会委員長の報告を終わります。

他の委員さんからの補足はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 補足なしと認めます。

総務常任委員会委員長の報告に対する質疑を行います。

なお、各常任委員会委員長に対する質疑は、申し合わせ事項により、審査の経過と結果に対する質疑にとどめることになっておりますので申し添えます。

質疑ありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。

以上で、総務常任委員会委員長の報告を終わります。

次に、経済建設常任委員会の報告を求めます。経済建設常任委員会委員長、中川政司君。

○経済建設常任委員会委員長（中川政司君） それでは、皆さんおはようございます。

令和2年第3回美里町議会定例会における経済建設常任委員会報告書

令和2年9月11日

美里町議会議長 吉田美好様

経済建設常任委員会委員長 中川政司

本定例会会期中に、経済建設常任委員会活動をいたしましたので、その概要を報告します。

9月10日10時より、第1会議室において、吉田起登議員、坂田議員、濱田議員、中川と、執行部より長井建設課長、高田林務観光課長、富永経済課長、北島水道衛生課長の出席のもと、会議を開催いたしました。

まず、令和元年度の一般会計及び特別会計決算書について、担当課長より歳入歳

出について説明があり、その都度意見を求めました。

経済課では、大型の囲い罫2基、これ10メートル×10メートル、高さ3メートルを設置したが、1年目ということであまり成果は出ていないが、小型の箱わなを含めると、イノシシ、シカ、サル、アナグマ合わせると、年間に1,244頭の捕獲とのことであります。

林務観光課では、御坂遊歩道に設置した募金箱には7万3,109円、直接役場へ個人で2組の方が40万円と15万円、合わせまして62万3,109円の募金があったということであります。また、森林環境税、環境贈与税では832万5,000円が贈与され、林道の維持費4路線、林業用機械と導入事業が3件行われております。

建設課では、28年災があと2か所残っておりますが、既に入札は終わっているということであります。令和2年度一般会計補正予算書（第10号）についても説明がありました。

12時15分に午前中を終わり、午後1時15分より現場視察を行いました。

まず、洞岳線民有林道開設工事現場へ行き、3か所の法面の崩壊があっているようですが、進入路が工事中であり通行できませんので、写真により説明を受けました。7月の豪雨災害だそうです。

次に、佐俣の湯内露天風呂屋根改修工事現場を視察しました。屋根の梁が腐敗していたために、部分的に補修をする予定であったが、調査をいたしたところ、全部取り換えないと使用できないとの説明がありました。11月末ごろの完成とのことであります。その後、小筵の荒崎地区の水道試掘の予定地、予定場所を視察し、午後2時50分、中央庁舎に帰り散会をいたしました。

以上で、経済建設常任委員会報告を終わります。

報告漏れがありましたら、他の委員さんの補足をお願いいたします。

○議長（吉田美好君） 以上で、経済建設常任委員会委員長の報告を終わります。

他の委員さんからの補足はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 補足なしと認めます。

経済建設常任委員会委員長の報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。

以上で、経済建設常任委員会の報告を終わります。

次に、社会文教常任委員会の報告を求めます。社会文教常任委員会委員長、福田秀憲君。

○社会文教常任委員会委員長（福田秀憲君） おはようございます。

社会文教常任委員会を開催しましたので、その報告をいたします。

期日は昨日、10時から14時30分までに開催しております。

議会から、今田議員、松永議員、高田議員、と私、福田です。執行部から吉永教育長、坂村学校教育課長、中川社会教育課長、松永健康保険課長、中村福祉課長、北島水道衛生課長が出席をいただいております。

議事といたしまして、一般会計補正予算（第10号）について、説明を受けました。今回は、歳入歳出にそれぞれ5億322万円を追加しております、87億9,710万3,000円というふうになっております。これは、昨年度のちょうど9月の定例のときの金額に比べますと、4億7,100万円の増加となっております。これは、コロナ関連の事業でこれだけ膨らんでいるのではないかなというふうに思っております。

社会文教関係の主な事業といたしましては、福祉課で介護基盤緊急整備特別対策事業として、美里苑のうらら、きららに空気清浄機の設置、また、こもればの介護職員宿舎を借り上げておられますけれども、そこの改修をいたします。また、災害救助県負担金と復興基金を利用して、砥用庁舎仮庁舎の仮設の住宅を設置しておりますけれども、その跡地の舗装を行います。

健康保険課では、今回義務付けられましたロタウイルスワクチン接種が行われるようになります。私も初めて、このロタというのを聞いて、いろいろ説明を受けましたけれども、これは幼児期の腸の病気を予防するものであるそうです。今回から義務付けられましたので、その接種が行われます。

学校教育課は、学校ICT機器購入実績によりまして、残額の1,000万円の計上なされています。これは予算書のほうを見ていただければいいのかなと思います。また、企業よりいただきました教育費寄附金につきましては、各学校に均等に配分して、備品購入に充てられるようになっております。

社会教育課は、文化交流センターに2基設置されております空調機が、空調機の1台が故障しております。本当は交互に運転するようになってるんですけども、今片方で運転しているようで、1台の故障の修繕を行うことになっております。

あと、カントリーパーク及び砥用ドームに設置されております遊具について、老朽化しておりますので、これは危険なため撤去するようになっています。

午後から現地調査を行いました。4か所について現地調査を行いました。カントリーパーク及び砥用ドームの遊具、木製の遊具は本当に老朽化していて危険な状態になりますので、現在は使用しないようにテープで周りを囲んでありますけれども、なるべく、子どもたちが入ったりなんかする危険がありますので、なるべく早くこ

の撤去をしたほうがいいのではないかなという思いがあります。

砥用中学校は、スクールバスの駐車場の建設現場、それと体育館の入り口に植え込みがありましたけれども、そこは撤去をして、車が出入りしやすいような形になっております。

そのあと、励徳小学校に行きました。ここは複式学級が3年生・4年生、5年生・6年生の2学級といたしますか、二つがありますので、教室が狭いということが今まで言われておりましたけれども、その教室の改修が終わりましたので、その現状を見てまいりました。これについては、先生、また児童に関しても本当に満足されてるような感覚を受けたところであります。

最後に、教育長より報告がありまして、宇城中学駅伝というのが今まで豊野地区を中心にですね、やられておりましたけれども、あそこにはスマートインターができた関係で、通行がものすごく多くなって危険になったということで、本年度は美里町のコースを利用して駅伝を行うという報告を受けております。

以上、社会文教常任委員会の報告を終わります。

○議長（吉田美好君） 以上で、社会文教常任委員会委員長の報告を終わります。他の委員さんからの補足はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 補足なしと認めます。

社会文教常任委員会委員長の報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。

以上で、社会文教常任委員会の報告を終わります。

これで、各常任委員会報告及び質疑を終わります。

-----○-----

日程第2 議案第66号 令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定について

○議長（吉田美好君） 日程第2、議案第66号、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定についてを再度上程し、議題とします。

お諮りします。決算認定の質疑につきましては、一括質疑で行いたいと思っておりますがご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。したがいまして、決算認定の質疑は一括質疑といたします。

これから質疑を行います。質疑のある方は、ページと款・項・目・節を指定の上、発言をお願いします。質疑はありませんか。

10番、福田君。

○10番（福田秀憲君） 議長、10番。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） ただいま上程中の議案について、質問をいたします。

23ページですけれども、固定資産税というのがあります。固定資産税で、項が固定資産税、目が固定資産税ということで、現年課税分といたしまして、275万9,268円の収入未済が出ております。これは、前年に比べても多いし、何か原因があったのかどうか、そこを一つ教えていただければ。

○議長（吉田美好君） 田上税務課長。

○税務課長（田上和則君） ご説明を申し上げます。

明らかな原因というのは、今のところ調査はしておりませんが、現在、課税につきまして各担当部署でいろんな対策を講じながらですね、やってる段階でありまして、今後これにつきましては改善を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○10番（福田秀憲君） わかりました。議長。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） 続きましてですね、35ページ、款の使用料及び手数料、項の使用料、目の土木使用料ということで、節の2に住宅の使用料というのがあります。ここの収入未済額1,616万1,829円という金額が出ておりますけれども、相当な金額になっております。これは、やはり払わない人がいるということで未済額がこう出てるんじゃないかなという思いがしておりますけれども、年々増えてきているような気がいたします。何か原因といいますか、その手立てというか。何かありますでしょうか。

○議長（吉田美好君） 長井建設課長。

○建設課長（長井寿浩君） ご説明申し上げます。

収入未済額1,600万程度ありますけれども、これにつきましては、毎年収入未済額が増加している状況になっております。昨年と比べますと今年度は多少は、年頭分につきましては多少減っておりますけれども、年々、毎年特別徴収を出張して、出張というか徴収をしながら行っておりますけれども、なかなか徴収しに行っても本人と会えないとか、そういう現状が出ておりますので、今後はまた、そういう対応をしながら徴収率が上がるように努力していきたいと思っております。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） なんでお尋ねしたかというとですね。町営住宅をたまに回るといいますか、行ってみると全然使っておられないのに町営住宅を契約しておられ

る方が大分おられます。そして、中には荷物がいっぱい入れてあって、もう周りは草だらけといますか。それがですね、もう何年も続いているようなところがありますし、何か解決の手立てがないのかなという思いがして、と言いますのは、入りたい人もおられますでしょうし、何とか解決して、そこを次の人に入っていただくというようなことができればいいのかなという思いがしております。例えば、熊本市あたりは、滞納されてる方については裁判を起こして、実際にどういう方法で払っていただくのかというやつをですね、いろいろ研究されてやっておられますけれども。いろんな方法があると思いますけれども、これは所在地が、今建設課長が言われたように、わからないところも結構あると思うんですよね。そのあたりのわかるような手立てがあれば、講じていただいて。これはもう解決していかないと、私は毎年、段々その滞納額が増えていくんじゃないかなという思いがしておりますけれども。

○議長（吉田美好君） 上田町長。

○町長（上田泰弘君） 先ほどの固定資産税、それから住宅の使用料ですね。こういったのはもう、中にはもう常態化されてる方もいらっしゃいますし、こちらが行っても全く気にされないといいますか、そういう対応をされる方もいらっしゃいます。

そういった意味では、今、美里町の債権収納対策機構であったり、上益城の4町と併任徴収の協定を結んで、競売であったり、以前に比べると大分厳しい対応をやっていると。非常に、少しでもそういう方々から滞納分をとろうと、税を徴収しようというような厳しい対応をやっているというのは、前に比べてですね、大分厳しくなってきたというのが今の現状であります。それでもおっしゃるように、どこにいらっしゃるかわからない、行ってもうちあってももらえないというようなこともあります。

そういった意味では、今、熊本市の裁判の話もありましたが、今後、顧問弁護士の先生ともですね、打ち合わせをさせていただいて、さらにもう一步踏み込んだそういう徴収等ができないかというのでも検討したいというふうに考えます。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） これはやっぱり、そのまま放置していると段々滞納額が増えるし、不納欠損もしなきゃいけないでしょうし、住宅も空きができないということで、ぜひですね、前向きに取り組んでいただければと思います。よろしく願いいたします。終わります。

○議長（吉田美好君） ほかにありませんか。

1番、高田君。

○1番（高田美千子君） 議長。

○議長（吉田美好君） 高田君。

○1番（高田美千子君） 1番、高田です。

ただいま上程中の議案の中で、17ページ、款の2総務費、目の6企画費の中の節の12委託料の中にあります、スポーツでいい里づくり。

すみません。失礼しました。じゃ、後ほど。

○議長（吉田美好君） ほかにありませんか。決算書についてでございます。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案の認定に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案の認定に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第66号、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第66号、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

-----○-----

日程第3 議案第67号 令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○議長（吉田美好君） 日程第3、議案第67号、令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案の認定に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案の認定に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第67号、令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長(吉田美好君) 全員起立です。

したがいまして、議案第67号、令和元年度美里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

-----○-----

日程第4 議案第68号 令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

○議長(吉田美好君) 日程第4、議案第68号、令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定についてを再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案の認定に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 次に、本案の認定に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第68号、令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長(吉田美好君) 全員起立です。

したがいまして、議案第68号、令和元年度美里町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

-----○-----

日程第5 議案第69号 令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○議長(吉田美好君) 日程第5、議案第69号、令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案の認定に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案の認定に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第69号、令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第69号、令和元年度美里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

-----○-----

日程第6 議案第70号 令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定について

○議長（吉田美好君） 日程第6、議案第70号、令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定についてを再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案の認定に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案の認定に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第70号、令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第70号、令和元年度美里町生活排水特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定をされました。

-----○-----

日程第7 議案第71号 令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の

認定について

○議長（吉田美好君） 日程第7、議案第71号、令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案の認定に反対の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 次に、本案の認定に賛成の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第71号、令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立であります。

したがって、議案第71号、令和元年度美里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

-----○-----

日程第8 議案第72号 令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○議長（吉田美好君） 日程第8、議案第72号、令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案の認定に反対の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 次に、本案の認定に賛成の方の発言を許します。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第72号、令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長(吉田美好君) 全員起立です。

したがいまして、議案第72号、令和元年度美里町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

-----○-----

日程第9 議案第73号 令和2年度美里町一般会計補正予算(第10号)

○議長(吉田美好君) 日程第9、議案第73号、令和2年度美里町一般会計補正予算(第10号)を再度上程し、議題とします。

内容説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

お諮りします。補正予算の質疑につきましては、一括質疑で行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 異議なしと認めます。したがいまして、補正予算の質疑は一括で行います。質疑はありませんか。

1番、高田君。

○1番(高田美千子君) 議長。

○議長(吉田美好君) 高田君。

○1番(高田美千子君) 1番、高田です。

17ページ、款の2総務費、目の6企画費、節の12委託料の中で、eスポーツでいい里づくり事業委託料の新型コロナ対策分として150万円が計上されております。そのことについて質問をさせていただきます。

これは町長の提案理由説明の中でも触れておられましたが、eスポーツという言葉が私たちには耳慣れないものでありまして、聞くところによりますと、この事業は全国でも先進的な取り組みをされると聞いておりますので、皆さまの関心も高いのではないかと思います。特に、これからますます医療費、介護費、福祉面での費用の増大が懸念されております中で、こういった予防的な取り組みっていうのは重要と思われるので、その事業の内容について、少し詳しいご説明をお願いいたします。

○議長(吉田美好君) 渡邊企画情報課長。

○企画情報課長(渡邊徳晶君) ご説明申し上げます。

まず、eスポーツといえますのは、ビデオゲーム、テレビゲーム等を使った対戦をエレクトロニックスポーツといいまして、それをですね、略したものがeスポーツといえます。2024年のパラリンピックの新種目としての採用も検討されておりました、ゲームというよりはスポーツとして捉えていくというふうなものでござ

います。今朝の新聞にもありますとおり、熊本市でもですね、世界大会の開催を検討するなど、世界的に広がりを見せている取り組みになっております。

今回、ご提案しておりますeスポーツでいい里づくり事業についてでございますけれども、町長のほうのご説明ありましたとおり、目的については、eスポーツ、ゲームを使って、高齢者の方にはですね、それをしていただいて、指先とか頭を使うことで認知症の予防につなげていけるのではないかとということが一つと、eスポーツというものをプログラミングする、組み立てていくというのを小学生にやっていただく、経験を、1回ちょっと体験をしていただいて、それで興味を持った子がそういうプログラミング的な人材の育成につなげていく。あとは、高齢者の方とプログラミングをする子どもの方との交流ができて、地域の世代間交流とかにつながるのではないかと、そういうことを目的としてやります。

で、具体的に、進め方と今、検討しているところとしましてはですね、まず、eスポーツ協会というのがございますので、そこと町で連携協定を締結して、eスポーツによるまちづくりについての協力体制を整えようと思っております。

併せまして、このeスポーツでいい里づくり事業、町が考えているeスポーツを活用した里づくり事業についての企画・提案をしまして、実施できる事業者を募集します。そこと協議をしてですね、委託によって事業を進めていこうというふうに考えております。

具体的にはですね、先ほどの美里町内で実施しております「通いの場」というのがありますけれども、その中から2地区程度をですね、モデル地区として指定しましてですね、そこでeスポーツができる機器を持ち込みまして、そこで参加される高齢者の皆様に体験をしていただく。で、慣れていただいて、定期的に認知症検査といいますか、その検査ができますので、そういったもので効果があるかないかというのを検証していくというふうに考えております。

あと、小学校につきましても、1校をですね、モデル校として採用しまして、プログラミングの授業、年間で1回、2回ぐらいの時間になるかと思っておりますけれども、プログラミングに対するちょっと体験をしてもらってですね、興味を持っていただく。

最終的には、そのeスポーツを使ってですね、eスポーツを体験した高齢者とプログラミングをした小学生が集まって、対戦の場だったり、みんなで集まってみんなでやる場みたいなのを設けて、今後のですね、交流につなげていければというふうに思っております。

以上でございます。

○1番（高田美千子君） 認知症の予防という面と、それから子どもたち

- 議長（吉田美好君） 議長を通してください。
- 1番（高田美千子君） あ、議長。
- 議長（吉田美好君） 高田君。
- 1番（高田美千子君） 認知症は今、とても社会的にも地域でも大変問題ありますので、そういった認知症の予防の面とか子どもたちのプログラミングの能力を高めるとか、地域間の交流というものが進んでいきますと、やっぱり地域が元気になっていくというすばらしいまちづくりにつながっていくんじゃないかって思っております。その成果に大いに期待をしたいと思います。これで終わります。
- 議長（吉田美好君） ほかにありませんか。
- 11番、濱田君。
- 11番（濱田憲治君） 11番、濱田です。
- 議長（吉田美好君） 濱田君。
- 11番（濱田憲治君） お尋ねをいたします。
- 16ページの総務費の一般管理費、12の委託料。先ほど総務常任委員長が委員会の報告をされたときにあった分ですが、オンライン対応契約管理システム整備委託料（新型コロナ対策分）640万。このオンライン対応という中身をお尋ねしたいと思います。
- 議長（吉田美好君） 宮崎総務課長。
- 総務課長（宮崎幸仁君） ご説明申し上げます。
- このオンライン対応契約管理システムにつきましては、現在指名願いというものを冊子で出していたいただいて、それを担当が入力して契約事務のデータをつくっております。これを窓口で足を運ばず、データ化したものを業者さんに入力していただいて、それを基に各入札用のデータをつくります。指名審査会等のデータもこれで作って、そして入札・契約までのそういった事務を簡略化して、要するに対面式で指名願いを持ってくるとか、そういう手間を省いて、コロナ対策にもつながるといようなことでオンライン化を進めるものでございます。
- 議長（吉田美好君） 濱田君。
- 11番（濱田憲治君） はい、内容分かりました。今のところは指名願い等で考えておられますが、例えば一般の町民が、公民館の研修室を使いたいとか、B&Gの体育館を使いたいとか、そういうようなところまでこの対応ができるような環境になっていくのか、お尋ねしたいと思います。
- 議長（吉田美好君） 上田町長。
- 町長（上田泰弘君） 先ほど総務課長から説明がありました。今回に関しましては、その入札に関するオンライン化であります。ただ、新生活様式がですね、浸透して

いくに従って、やはりいろんなものをオンライン化できるやつはオンライン化にやっぱり転換が今後進んでくるのではないかなというふうに思います。今回、一般質問でも、新型コロナ関連の交付金が出ておりますけども、その中でまずは、町の考えといたしましては、町民の皆さん、お困りの方々に手を差し伸べる、そのあと予算が余ると言い方はいけませんけども、予算の範囲の中でですね、できることがあれば、そういったオンライン化あたりも、この次の段階で検討していこうというような今、話をしているところでございます。

○議長（吉田美好君） 濱田君。

○11番（濱田憲治君） 予算の執行次第で、そういう一般の方の申し込みも検討されるというようなことでございましたので、推移を見守りたいと思います。

次のページの、企画費の18の負担金、補助金及び交付金、コミュニティ助成事業助成金250万、この内容について、お尋ねをしたいと思います。

○議長（吉田美好君） 渡邊企画情報課長。

○企画情報課長（渡邊徳晶君） ご説明申し上げます。

この250万円はですね、宝くじを財源としました一般財団法人が、地域の取り組みに対して行う補助事業に対しまして補助するものでございますけれども、審査はですね、その一般財団法人が全部行うので、お金をですね、町を通してその団体に交付をするということになっておりまして、歳入でも同額を今、計上しておりますけども、250万円がその財団のほうから町のほうに入ってきてまして、それをそのままその交付を受けるその団体ですね、助成を受ける団体に町のほうから支出するというので250万円を歳出として計上させていただいております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 宮寄総務課長。

○総務課長（宮寄幸仁君） 今、渡邊課長からありましたように、この補助の対象団体につきましては、庵竹公民館の補助と。庵室・竹の迫公民館に対しての補助ということになります。

○11番（濱田憲治君） はい。議長、終わります。

○議長（吉田美好君） ほかにありませんか。

3番、今田君。

○3番（今田政行君） 議長。

○議長（吉田美好君） 今田君。

○3番（今田政行君） はい、3番、今田です。お尋ねをいたします。

21ページ、目5番の畜産業費でございますけども、節の負担金、補助金並びに寄附金のところです。放牧活用型草原等再生事業補助金103万5,000円、計

上してございますけども、この事業内容と申請件数がわかれば、件数もお尋ねしたいと思います。

○議長（吉田美好君） 富永経済課長。

○経済課長（富永英司君） ご説明申し上げます。

放牧活用型草原等再生事業補助金ということで、町内の畜産農家さんが共同です。牧野、放牧地に牛を放牧地に出されているというところで、その放牧地の脱柵、牛が逃げるための防止するというので、有刺鉄線を使ったですね、牧柵を計画をされております。その中で、一つが、1件は放牧地が高森町にあります。5軒の畜産農家さんがそこに放牧をされて、牧柵を設置をされると。もう1件が畝野地区の放牧地。それともう1件が白石野地区ということで、3件の申請が上がっております。資材代の補助ということで103万5,000円、3団体で103万5,000円ということで予算のほう、計上させていただいております。

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 今田君。

○3番（今田政行君） はい、わかりました。

続きまして、次のページ、22ページですけども、目の2観光振興費ですけども、節の需用費、10番の需用費ですけども、観光施設修繕料230万計上してございますけども、この観光施設もいろいろ、いっぱいあると思いますけども、場所等がわかたらお願いいたします。

○議長（吉田美好君） 高田林務課長。

○林務観光課長（高田浩幸君） ただいまの質問について、ご説明申し上げます。

観光施設修繕料、これは主にですね、3か所を予定しております。1か所目がですね、3,000段石段の200段にあります東屋の瓦がですね、一部崩落気味になっております。その修繕料。と、1,700段にまたトイレがございます。そちらのほうの東屋のですね、修繕。の2か所と、あとですね、3,000段の石段本体ですけど、2,600段から3,333段、一番上の奥のほうですけど、そちらの階段がですね、一部歩行がしにくい状況になっております。段差がついた状態になってますんで、その修理代ということで3件合わせて230万円を計上しております。

以上で、説明終わります。

○3番（今田政行君） はい、わかりました。終わります。

○議長（吉田美好君） ただいま、私が指名するときに、林務課長といいましたが、林務観光課長の間違いでございました。訂正をいたします。

ほかにありませんか。

10番、福田君。

○10番（福田秀憲君） 議長、10番。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） ただいま上程中の議案について、お伺いをいたします。

ページがですね、24ページです。24ページの土木費、その道路橋梁費、橋梁維持費ということで、工事請負費に道路メンテナンス事業ということで1,750万円の計上があります。これは、どの道路が対象になるのかをお聞きしたいと思います。

○議長（吉田美好君） 長井建設課長。

○建設課長（長井寿浩君） ご説明申し上げます。

この道路メンテナンス事業ということで、今回新たに道路メンテナンス事業ということで、社会資本整備交付金から変更になった事業で、事業の内容といたしましては、橋梁補修の補修設計並びに工事、橋梁補修工事の費用となっております。

対象の路線につきましては、当初予算で計上してあります路線及び橋梁ということで、事業費の確定によって、この増額になっているものでございます。

以上です。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） これ、社会資本交付金からのメンテナンス事業というふうに呼び名が変わったということで、ということは、もう当初のやつに増額になったというふうに考えていいわけですね。ありがとうございます。

それから、続いてですね、その下。住宅管理費の中で、町営住宅の修繕料というのが520万計上されております。これですね、当初が250万ぐらいの予定をしてございましたけども、また、この増えた理由というのは何かありますでしょうか。

○議長（吉田美好君） 長井建設課長。

○建設課長（長井寿浩君） ご説明申し上げます。

この住宅修繕料におきましては、今後、町有住宅をまた新しく新規募集する際に、畳の交換等、町が修繕する部分が必要となってきますので、その分の費用として計上しております。

以上です。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） これ町有住宅というのは町有住宅になったばかりですよ。

町有住宅になったばかりで、新しいと思うんですけども。まあ、その畳をやっぱり取替えなきゃいけないというようなやつがあるんですか。

○議長（吉田美好君） 長井建設課長。

○建設課長（長井寿浩君） ご説明申し上げます。

今回新たに、新しく新規で募集する際に、新しいやつに交換しないと、次、また出ていかれて、今度新しく入られるときに交換を、中古というか、そういう場合には、新しく交換をしていただけないということで、新しい状態のまま、使用していただいて、出るときには、また今度は新しく畳を交換していただいて出るということで、新しいやつにするということで、この修繕料として計上しております。

○議長（吉田美好君） 福田君。

○10番（福田秀憲君） これはもう、そういう規約になってるんじゃないかなと私も勉強不足ですみませんでした。新しいのに必ず替えると、そういうようなことになってるということで。はい、わかりました。ありがとうございました。

○議長（吉田美好君） ほかにありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第73号、令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第73号、令和2年度美里町一般会計補正予算（第10号）は、原案のとおり可決されました。

ここでしばらく休憩をいたします。再開を11時15分とします。

-----○-----

休憩 午前10時59分

再開 午前11時15分

-----○-----

○議長（吉田美好君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

-----○-----

日程第10 議案第74号 令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○議長（吉田美好君） 日程第10、議案第74号、令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第74号、令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第74号、令和2年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決されました。

-----○-----

日程第11 議案第75号 令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）

○議長（吉田美好君） 日程第11、議案第75号、令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）を再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第75号、令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがいまして、議案第75号、令和2年度美里町土地取得特別会計補正予算(第1号)は、原案のとおり可決されました。

-----○-----

日程第12 議案第76号 令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算(第1号)

○議長(吉田美好君) 日程第12、議案第76号、令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算(第1号)を再度上程し、議題とします。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第76号、令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算(第1号)は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者 起立)

○議長(吉田美好君) 全員起立です。

したがいまして、議案第76号、令和2年度美里町介護保険特別会計補正予算(第1号)は、原案のとおり可決されました。

-----○-----

日程第13 議案第77号 令和2年度美里町生活排水特別会計補正予算(第1号)

○議長(吉田美好君) 日程第13、議案第77号、令和2年度美里町生活排水特別会計補正予算(第1号)を再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(吉田美好君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第 77 号、令和 2 年度美里町生活排水特別会計補正予算（第 1 号）は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第 77 号、令和 2 年度美里町生活排水特別会計補正予算（第 1 号）は、原案のとおり可決されました。

-----○-----

日程第 14 議案第 78 号 令和 2 年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）

○議長（吉田美好君） 日程第 14、議案第 78 号、令和 2 年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）を再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第 78 号、令和 2 年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第 78 号、令和 2 年度美里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）は、原案のとおり可決されました。

-----○-----

日程第 15 議案第 79 号 令和 2 年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）

○議長（吉田美好君） 日程第 15、議案第 79 号、令和 2 年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）を再度上程し、議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

議案第79号、令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

したがって、議案第79号、令和2年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決されました。

-----○-----

日程第16 発議第1号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

○議長（吉田美好君） 日程第16、発議第1号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出についてを議題とします。

提出議員の趣旨説明を求めます。5番、上田孝君。

○5番（上田 孝君） 発議第1号について、説明申し上げます。

発議第1号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

上記の議案を、下記のとおり美里町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出いたします。

令和2年9月8日提出 提出者、美里町議会議員、上田孝、賛成者、美里町議会議員、中川政司

美里町議会議長 吉田美好様

提案理由といたしまして、新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民の日常生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避け難くなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済の活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想されている。

地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためには、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を強く国に求めていくことが不可欠である。

このことから、国に対し、別紙意見書の提出を提案するものでございます。

○議長（吉田美好君） 以上で、趣旨説明を終わります。

意見書については、議会事務局長に朗読させます。倉田議会事務局長。

○事務局長（倉田辰実君） それでは、次のページをお開きください。読み上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民の日常生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避け難くなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済の活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国において、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正向け、下記の事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2、地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。

3、令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。

5、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

次ページをお開きください。

令和2年 熊本県美里町議会議長 吉田美好

衆議院議長様

参議院議長様

内閣総理大臣様

財務大臣様

総務大臣様

厚生労働大臣様

経済産業大臣様

内閣官房長官様

経済再生担当大臣様

まち・ひと・しごと創生担当大臣様

以上でございます。

○議長（吉田美好君） 以上で、議会事務局長の朗読を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

10番、福田君。

○10番（福田秀憲君） ちょっと質問、質問といいますか、こうした方がいいんじゃないかなということ。

この、今のところですね、宛名、これは大臣名とかこういうのは、今までは名前入れてから出しよったような気がするんですけども、これは入れたほうがいいんじゃないかなという思いがしておりますけれども、これは検討していただければ。

○5番（上田 孝君） 本来であれば入れることが正しい、言われるとおりでと思うんですけど、今回は内閣の改造等が予想されるかもしれませんので、出す時期にはそれぞれ大臣等が変わっているおそれもありますので、今回は名前を入れないでこういう形で。実際は確定した名前を入れて、提出することになると思います。

以上です。

○10番（福田秀憲君） わかりました。ありがとうございました。

○議長（吉田美好君） ほかにありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） はい、質疑なしと認めます。じゃ、提案者、席のほうへ。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず、本案に反対の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 次に、本案に賛成の方の発言を許します。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は起立により行います。

発議第1号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出については、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○議長（吉田美好君） 全員起立です。

よって、発議第1号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出については、原案のとおり決定されました。

後日、衆議院議長ほか全10名に意見書を提出いたします。

-----○-----

日程第17 議員派遣の件について

○議長（吉田美好君） 日程第17、議員派遣の件についてを議題とします。

お諮りします。別紙のとおり、議員を派遣したいと思います。

また、派遣決議後に派遣内容の変更等がありました場合、及び次の議会までに新たに派遣が必要となった場合等の判断は、議長に一任していただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがって、別紙のとおり議員を派遣することに決定をしました。

また、派遣決議後に派遣内容の変更等がありました場合、及び次の議会までに新たな派遣が必要となった場合等は、議長に一任していただくことに決定をしました。

-----○-----

日程第18 各常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査の件について

日程第19 議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査の件について

○議長（吉田美好君） 日程第18、各常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査の件について、及び日程第19、議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査の件についてを一括して議題としたいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

よって、日程第18及び日程第19を一括して議題とすることに決定をいたしました。

日程第18及び日程第19を一括して議題といたします。

お諮りします。各常任委員会委員長、議会運営委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがって、各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定をいたしました。

以上で、本定例会に上程されました案件は全部議了しました。

したがって、会議規則第8条の規定により、閉会したいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（吉田美好君） 異議なしと認めます。

したがって、本定例会は本日をもって閉会することに決定をいたしました。

閉会に先立ち、上田町長にご挨拶を求めます。上田町長。

○町長（上田泰弘君） まずは、第3回の定例会、全ての議案に対しましてご承認いただきまして、誠にありがとうございました。

この9月定例会の補正予算を提案させていただく前に、予算の査定をしたときですね、学校関係、子どもたちの関係の予算を今回大分減額をさせていただいております。それは、新型コロナウイルスで、例えばプールがなかったり、いろいろな行事が中止になったりということで、非常にこのコロナウイルスで子どもたち、みんなそうなんです。特に子どもたちは本当にかわいそうだな、例えば中体連もありませんでしたし、集団宿泊もないというような状況が生まれております。本当にかわいそうだなと思いながら、予算を査定したところでございます。

今回、国のほうからこのコロナ対策分で、地方創生の臨時交付金2次配分もあっております。1次配分、2次配分合わせまして、これから、例えば子どもたちに何かそれぞれの学校で、思い出になるような取り組みができないか。そういったことも含めて、政策、予算化していきたいと考えております。

その途中で、臨時の議会等お願いすることがあるかもしれませんが、その際はどうぞよろしくお願い申し上げます。

台風が思ったより大きな被害がなくて、台風10号過ぎ去りました。梅雨が終わったあと台風の季節になって、これからまた台風がですね、この美里を襲うことがあるかもしれません。そういったことも含めてまた、臨時会、あるいは専決あたりもお願いすることになってくる可能性もありますので、また、その際もご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

いずれにしましても、まだまだこのコロナ、終焉が見えない中でありますけども、美里町、まだ一人も感染者出ておりません。みんな、あまり騒ぎ立てるといけませんけども、みんなです、気をつけながら、正しく恐れながら、感染防止に努めながら頑張っていければと思います。

どうぞ、今後とも議会の皆様にはご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして、閉会に当たっての挨拶とさせていただきます。

どうも、大変お世話になりました。

○議長（吉田美好君） 以上で、町長の挨拶を終わります。

それでは、これをもちまして、本日の会議を閉じ、令和2年第3回美里町議会定例会を閉会いたします。

-----○-----

閉会 午前11時37分

地方自治法第123条第2項の規定により署名いたします。

美里町議会議員

美里町議会議員

美里町議会議員

美里町議会会議録
令和2年第3回定例会

令和2年9月発行

発行人 美里町議会議長 吉田美好

編集人 美里町議会事務局長 倉田辰実

作成 株式会社アクセス

電話 (096) 372-1010

美里町議会事務局

〒861-4492 熊本県下益城郡美里町馬場1100番地

電話 (0964) 46-2111